National

この電気温水器は契約方法により、以下のいずれでも使用できます。

A 時間帯別料金対応通電制御型

B 深夜電力通電制御型

C 季節別時間帯別電灯契約通電制御型

この電気温水器は申請によって通電制御型として料金割引が適用されます。
買い替えの場合でもご使用の前に、電力会社または販売店にお問い合わせください。

取扱説明書

追いだき機能付 フルオート（全自動）

高圧力型 電気温水器

	屋外型	屋内型
品番	DH-37G3QUBA	DH-37G3QUBAM
	DH-46G3QUBA	DH-46G3QUBAM

※イラストは370 Lタイプです。

保証書別添付　工事説明書別添付

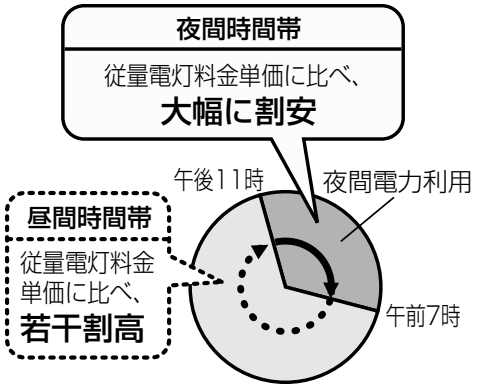
このたびは、電気温水器をお買い上げいただき、まことにありがとうございます

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- **ご使用前に「安全上のご注意」（4～6ページ）を必ずお読みください。**
- 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書、工事説明書とともに大切に保管してください。
- お買い上げの機種の品番は、本体のネームプレートと本書の「仕様」（裏表紙）でご確認ください。
- この機種はBL認定品です。

電力契約について

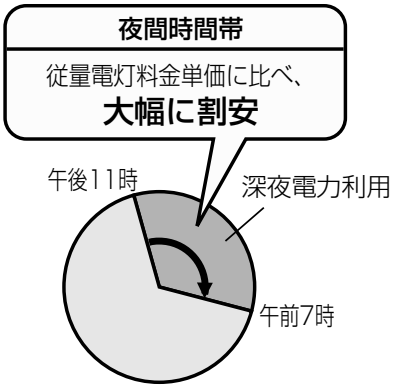
A から **C** のいずれかで契約されています。ご確認ください。

A 時間帯別料金対応通電制御型



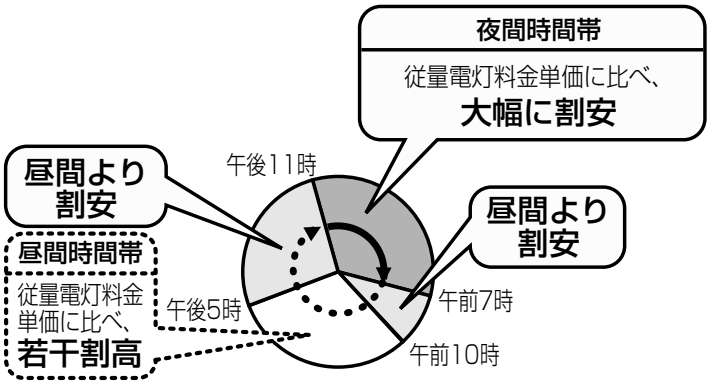
ご家庭で使うすべての電力を、時間帯別電灯専用の積算電力で上図のように2つの時間帯に分けて電力料金を算定します。
※料金の目安や通電時間帯は地域により異なります。

B 深夜電力通電制御型



翌日使用するお湯を夜11時から翌朝7時までの間の深夜電力通電時間帯で沸き上げます。
（電力会社によって深夜電力通電時間帯は異なる場合があります。）

C 季節別時間帯別電灯契約通電制御型



ご家庭で使うすべての電力を上図のように3つの時間帯と2つの季節に分けて電力料金を算定します。
※電力会社によっては、2つの時間帯と2つの季節に分ける場合もあります。
※料金の目安や通電時間帯は地域により異なります。
※電気温水器は季節区分の判断はできません。

リモコンについて

この取扱説明書はボイスリモコン、コミュニケーションリモコンで説明しています。
共通する説明のイラストは、コミュニケーションリモコンで説明しています。

本文中に出てくる「♪」「 」の表示は次のことを意味します。 ➡ ♪ **【メロディーでお知らせ】** **【声でお知らせ】**

●コミュニケーションリモコン
浴室と台所で会話ができます。（浴室の様子を台所から音で確認できる音声モニター機能がついています。操作の内容を声やメロディーでお知らせします）

●ボイスリモコン
操作の内容を声やメロディーでお知らせします。

●コードレスリモコン
コードレスリモコンを使用する場合は、リモコンに同こんの取扱説明書も併せてお読みください。

使用地域の水質により、ごくまれにタオル、浴そうなどが青くなることがありますが、人体に害はありません。（☞ 18ページ）

高圧力型とは

「労働安全衛生法施工令」の改正（平成10年12月）により、小型ボイラー規制が改正され、電気温水器の最高使用水圧が変更されて従来の100 kPaから200 kPaまでの使用が可能となりました。
これにより、給湯・シャワーの使い勝手（特に2階給湯時）が向上します。
ただし、一般家庭以外（事業所設置等）でご使用の場合は、改正にともない、規定事項が義務付けられています。
（☞ 60～61ページ）

もくじ

必ず お読みください

安全上のご注意 ……4～6
各部の名前 ……7～13
〈本体・本体周辺・台所リモコン・浴室リモコン〉
はじめてお使いになるとき ……14～15
早見表　主な使いかた ……16～17

すぐ 使いたいとき

使用上のお願いとお知らせ ……18
現在時刻を合わせる ……19
知っておいてください ……20
メニュー設定を切り換える ……21～27
〈台所リモコン・浴室リモコン〉
台所・洗面所でお湯を使う ……28
浴室でお湯・シャワーを使う ……29
ふろ温度とふろ湯量（水位）の設定 ……30
お湯はりをする ……31
お湯はりが完了すると ……32
ふろ保温時間の設定 ……33
お湯はりの予約をする ……34
湯かげんの調節をする ……35
湯量を多くする ……36
〈ボイスリモコンのみ〉浴室から呼び出す ……36
自動配管洗浄の設定 ……37
〈コミュニケーションリモコンのみ〉
浴室リモコンから通話する ……38
台所リモコンから通話する ……39
音声をモニターする/音声のモニターを禁止する …40
音声のモニター・通話の音量を調節する ……41
上手にお使いいただくために ……42～43
（沸き上げ設定について・残湯量を変更したいとき・沸き上げ設定を変更したいとき）

もし 必要なとき

点検とお手入れ ……44～51
断水時に生活用水として使う ……52～53
据付工事後の確認 ……54
お湯はりの試運転をする ……55
故障かな? ……56～59
事業者様へのご案内 ……60～61
保証とアフターサービス ……62～63
仕様 ……裏表紙

安全上のご注意 （必ずお守りください）

お使いになる人や他の人への危害、物的損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

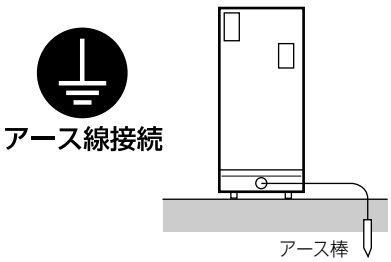
⚠警告	この表示の欄は、「死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度」です。
⚠注意	この表示の欄は、「傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度」です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

	この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	この絵表示は、必ず実行していただく「指示」内容です。

⚠警告

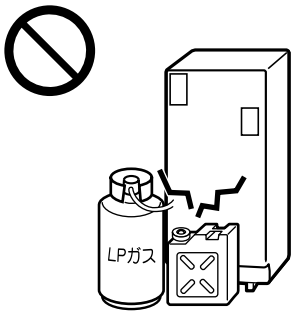
アース工事を確認する



アース工事がされないと故障や漏電のときに感電するおそれがあります。

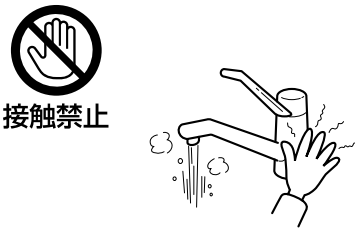
- アース工事を販売店にご依頼ください。（アース工事費は、本製品の価格には含まれていません）

近くにガス類容器や引火物を置かない



本体の電気部品のスパークで、発火することがあります。

給湯時は給湯せん本体に手をふれない



熱湯でやけどをするおそれがあります。

漏電しゃ断器A、B（2か所）の作動を確認する

（☞ 44ページ）

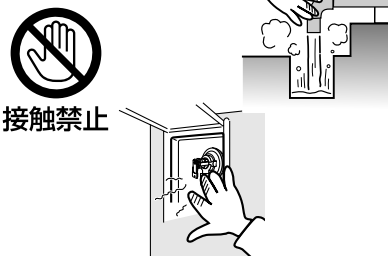
万一の不作動で、故障や漏電のときに感電するおそれがあります。

- 故障の場合は販売店にご相談ください。

温水器の前板を開けない

感電するおそれがあります。

逃し弁の点検時、排水時は逃し弁や排水管・ドレン口・ドレン管に手をふれない



熱湯でやけどをするおそれがあります。

⚠警告

絶対に分解・修理・改造しない

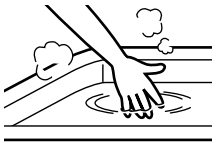
分解禁止

感電や火災の原因になります。
- 修理の場合は販売店にご相談ください。

浴そうのふろ接続アダプター（循環口）を手足やタオルでふさいだり、体を近づけない

やけどのおそれがあります。
本体の故障や配管の水漏れの原因となります。

浴そうの湯温を確かめる



やけどのおそれがあります。
- 自動湯はり後入浴するときは、手で湯温を確かめてから入浴してください。

給湯・シャワー使用時は湯温を確かめる

やけどのおそれがあります。

給湯温度の設定を変更するときは、他のじゃ口の使用を確認してから変更する

やけどのおそれがあります。
- シャワー使用時は、給湯温度を変更しないでください。

子供を浴室内で遊ばせない、また浴そうのふろ接続アダプター（循環口）付近に潜ったりしない

思わぬ事故の原因となります。

ふろ接続アダプター（循環口）の浴そうフィルターをはずして使用しない

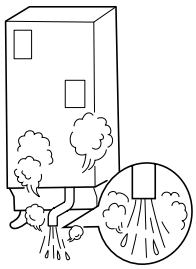
思わぬ事故の原因となります。

浴そうのふろ接続アダプター（循環口）の浴そうフィルターがゆるんだ状態、またははずれた状態で使用しない

思わぬ事故の原因となります。

⚠注意

電気温水器の熱湯を直接排水しない



やけどをすることがあります。また、排水管などを破損することがありますのでタンク内を水にしてから排水してください。

異常時は、漏電しゃ断器A、B（2か所）を「切」にする

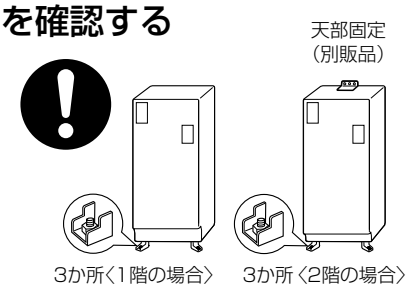
異常のまま使用すると故障や感電、火災の原因になります。
- お買い上げの販売店にご相談ください。

安全上のご注意

必ずお守りください

⚠注意

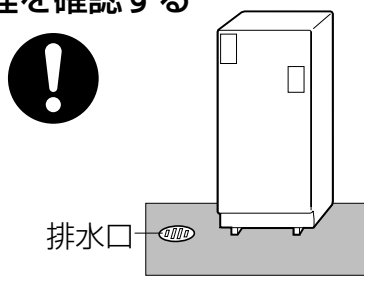
脚のアンカーボルト固定を確認する



地震などによって本体が転倒してけがをするおそれがあります。

- 固定していない場合は販売店にご相談ください。

床面の防水処理・排水処理を確認する



万一の漏水のときに階下などに被害をおよぼすおそれがあります。

- 販売店にご相談ください。

配管の保温工事を確認する

配管が凍結して破損すると、やけどや水漏れすることがあります。

- 保温工事を販売店にご依頼ください。

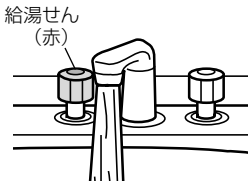
逃し弁の作動を確認する

故障のまま使用すると、タンクの破損や逃し弁からの水漏れのおそれがあります。

1か月に1回作動確認してください。

- 故障の場合は、販売店にご相談ください。

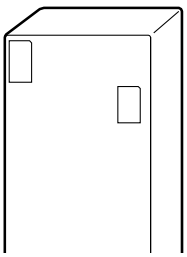
タンクを満水にしてから通電する



タンクに水を入れずに通電すると過熱します。

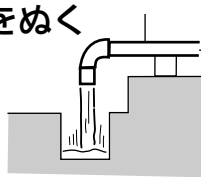
- 給湯せん（赤）を開き、水が出ることを確かめてから、漏電しゃ断器を「入」にしてください。

本体操作部、逃し弁点検のふたは閉じておく



開いていると雨やごみが入り、漏電や感電の原因となります。

長期間使用しないときはタンクの水をぬく



1か月以上使用しないと水質が変化することがあります。

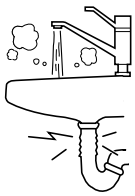
そのまま飲用しない

長期間のご使用によってタンク内に水あかがたまったり、配管材料の劣化等によって水質が変わることがあります。飲用される場合は、下記の点に注意し、必ず一度、やかんなどで沸騰させてからにしてください。

- 必ず水質基準に適合した水を使用してください。
- 熱いお湯が出てくるまでの水（配管内にたまっている水）は、雑用水としてお使いください。

固形物や変色、濁り、異臭があった場合には、飲用には使用せずに、直ちに点検の依頼を行ってください。

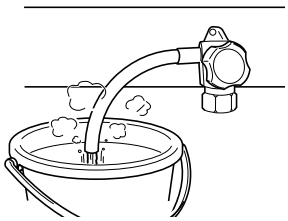
あつい湯を直接流さない



あつい湯により、やけどをしたり、排水管を傷めることがあります。

- 水と混合して流してください。

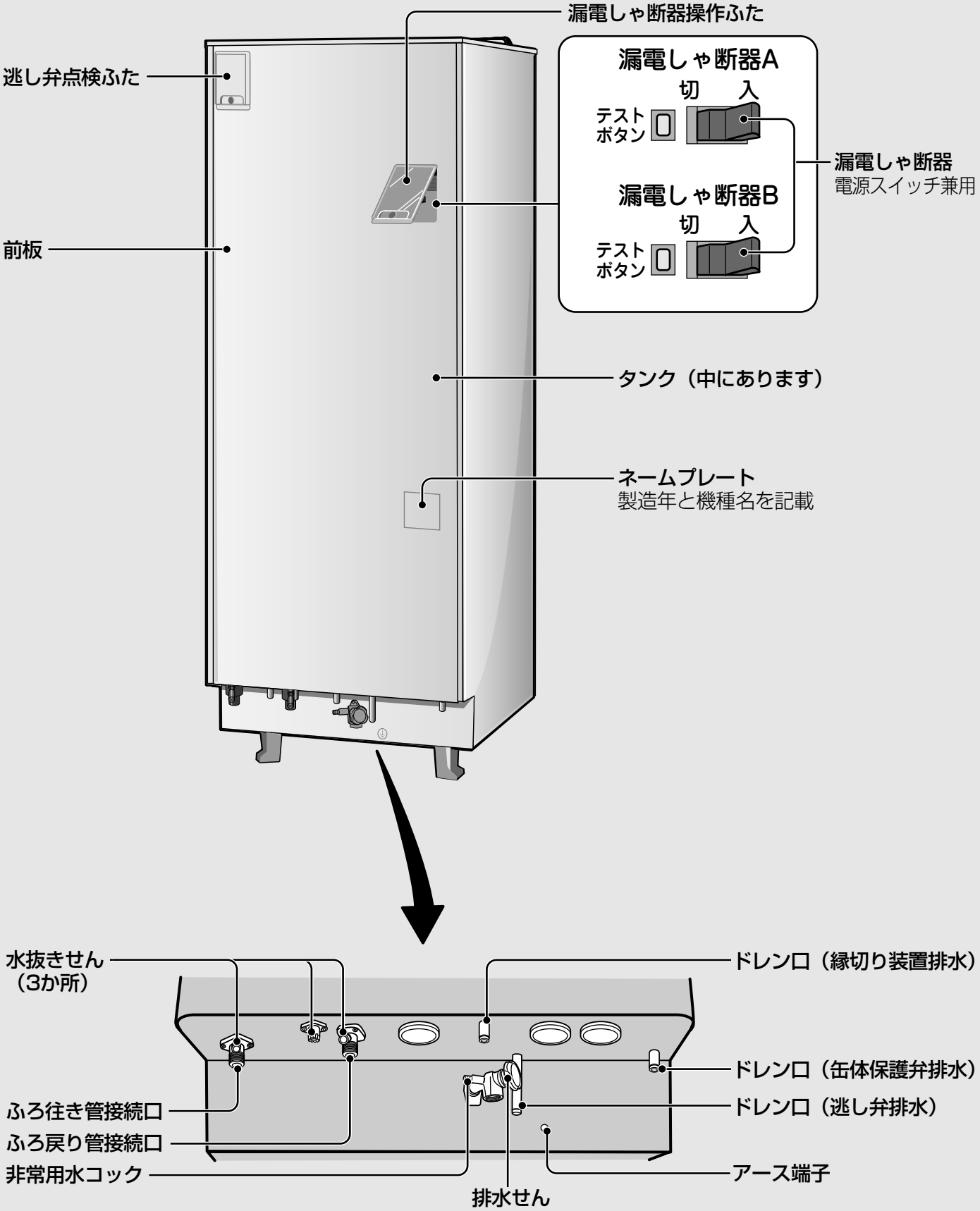
非常用水コック使用時は湯温を確かめて、熱に強い容器を使用する



熱に強いホースを使用してください。
ホースから熱湯が出ます。

- やけどにご注意ください。
- ガラス容器などは熱により割れることがあります。

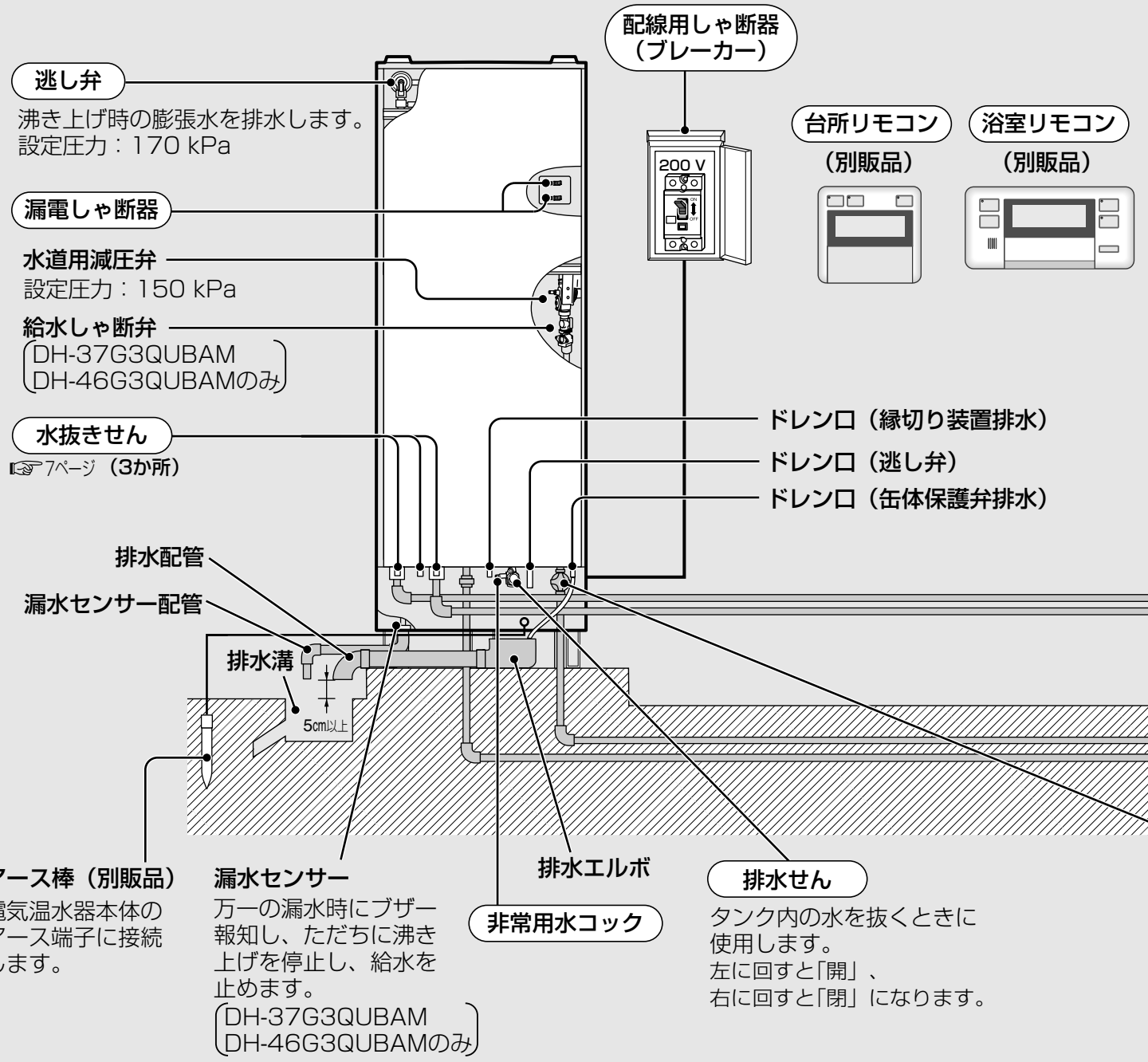
各部の名前〈本体〉

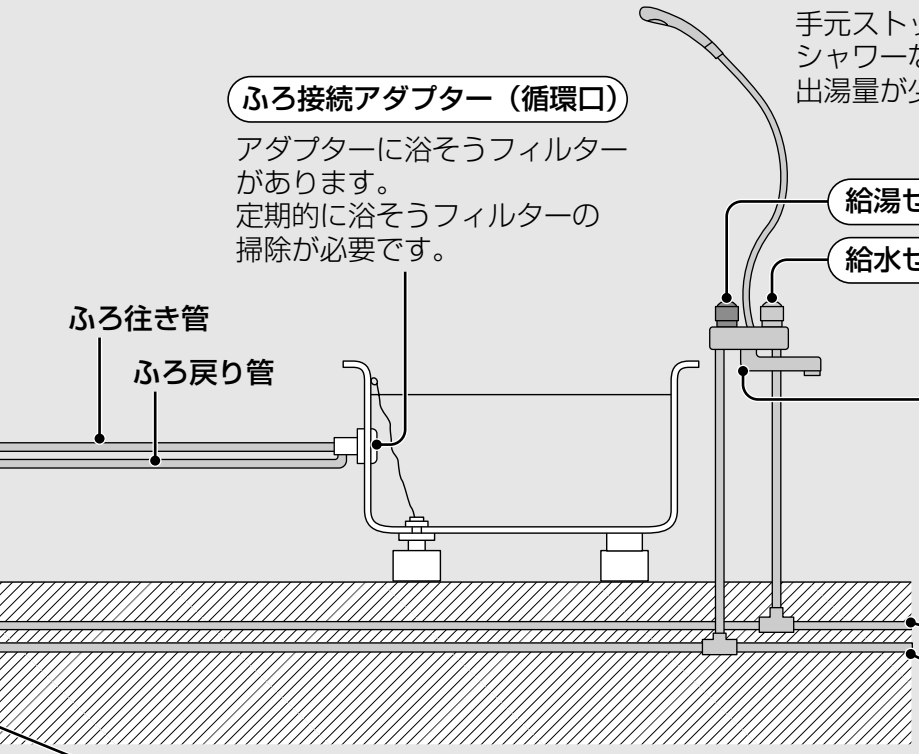

漏電しゃ断器操作ふた
逃し弁点検ふた
前板
漏電しゃ断器A
切　入
テスト
ボタン
漏電しゃ断器B
切　入
テスト
ボタン
漏電しゃ断器
電源スイッチ兼用
タンク（中にあります）
ネームプレート
製造年と機種名を記載
水抜きせん
（3か所）
ドレン口（縁切り装置排水）
ドレン口（缶体保護弁排水）
ふろ往き管接続口
ドレン口（逃し弁排水）
ふろ戻り管接続口
非常用水コック
アース端子
排水せん

各部の名前〈本体周辺〉

屋外標準配管（例）

（　　）は、お客様が操作いただく部分です。




シャワー
手元ストップシャワー、マッサージシャワーなどのシャワーヘッドでは出湯量が少なくなります。
ふろ接続アダプター（循環口）
アダプターに浴そうフィルターがあります。
定期的に浴そうフィルターの掃除が必要です。
給湯せん(赤)
給水せん(青)
ふろ往き管
ふろ戻り管
混合水せん
水せんは混合水せんをお使いください。
特に浴室ではサーモスタット付き混合水せんの使用をおすすめします。
給水配管
給湯配管
給水元せん
給水元せんは本体に付属していません。給水配管と本体の間に設置してあります。水道水の「開」・「閉」に使用します。
左に回すと「開」、
右に回すと「閉」になります。

各部の名前〈台所リモコン〉

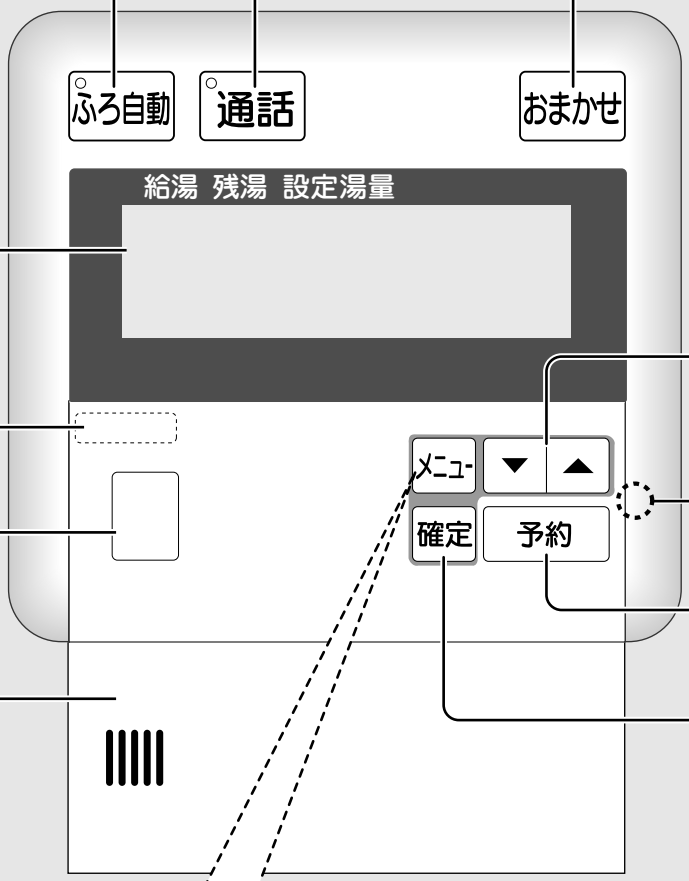
台所リモコン（操作部）

操作カバーを開けたとき

〈コミュニケーションリモコンのみ〉
通話スイッチ・ランプ
浴室と通話できます。
（☞39ページ）

ふろ自動スイッチ・ランプ
設定したふろ湯量と温度でおふろにお湯をはります。
（☞31ページ）

おまかせスイッチ
沸き上げ湯量を自動的に設定します。
（☞43ページ）



画面表示部

本体品番
（施工時に貼付）

スピーカー

操作カバー

▽・△スイッチ
選んだ設定の内容を変更します。

〈コミュニケーションリモコンのみ〉
マイク（ケース内部）

予約スイッチ
（☞34ページ）

確定スイッチ
選んだ設定の内容を確定します。

メニュースイッチ
メニュー を押すごとに次の設定ができます。（☞22ページ）

①給湯温度の設定
②沸き上げ湯量の設定
③残湯量の設定
④電力量確認表示
⑤お知らせ（音声）パターンの設定
⑥音量の設定
⑦表示の自動消灯設定
⑧表示明るさの設定
⑨現在時刻の設定

操作カバーを閉めたとき

台所リモコン（画面表示部）

沸上中表示
沸き上げ中に表示。
沸き上げが完了すると消灯。

台所優先表示
表示中は台所で
給湯温度の設定ができます。
（☞20、22、28ページ）

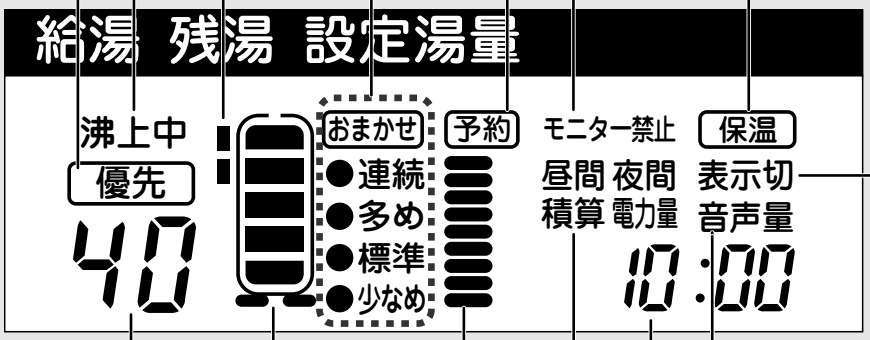
残湯量設定表示
沸き増し*を開始する
残湯量を表示。
（☞23、42ページ）

沸き上げ設定表示
（☞42、43ページ）

予約表示
ふろ自動を予約中に表示。
（☞34ページ）

モニター表示
浴室の音声モニター中に表示。
禁止中はモニター禁止を表示。
（☞40ページ）

ふろ保温表示
保温をしているときに表示。
（☞32、33ページ）



給湯温度表示
給湯の設定温度を表示。
（☞22、28ページ）

残湯量表示
タンク内の残湯量を表示。
（☞下図参照）

湯量レベル表示
「おまかせ」運転時の沸き上げ湯量レベルを表示。
（1～9レベル、ただし深夜電力契約時1～6レベル ☞42ページ）

表示切
表示の自動消灯
設定時に表示。
（☞23ページ）

音声表示
お知らせ(音声)パターン
の設定時に表示。
（☞22ページ）

音量表示
音量の切り替え時に表示。
（☞22ページ）

時刻表示
現在時刻・お湯はりの予約時刻を表示。
（☞19、34ページ）

電力量表示
昼間、夜間の電力量と積算電力量を表示。
（☞23ページ）

●上記画面表示は、説明のため全部表示したものです。

*沸き増し…タンクのお湯がなくならないように、
お湯を沸き上げて追加することです。

残湯量表示

（単位：L）

品　番					
DH-37G3QUBA(M)	50以下	50以上～100未満	100以上～150未満	150以上～280未満	280以上～370以下
DH-46G3QUBA(M)	50以下	50以上～125未満	125以上～200未満	200以上～370未満	370以上～460以下

※湯量レベル1の場合、最大でも の表示になります。

各部の名前〈浴室リモコン〉

浴室リモコン（操作部）

リモコン切/入スイッチ・ランプ
浴室リモコンの「入」「切」に。
（☞20ページ）

ボイスリモコン
呼出
呼出スイッチ

コミュニケーションリモコン
通話
通話スイッチ・ランプ

ふろ自動スイッチ・ランプ
設定したふろ湯量と温度でおふろにお湯をはります。（☞31ページ）

追いだきスイッチ・ランプ
おふろのお湯をあつくしたいときに。
（☞35ページ）

画面表示部

リモコン切/入
給湯　ふろ
ふろ自動
追いだき
メニュー　▼　▲　確定
モニター禁止
ぬるめ　足し湯
優 先

スピーカー

操作カバー

〈コミュニケーションリモコンのみ〉
マイク（ケース内部）

優先スイッチ
浴室で給湯／シャワー温度を設定するときに。（☞20、29ページ）

▽・△スイッチ
選んだ設定の内容を変更します。

足し湯スイッチ・ランプ
おふろにお湯を足したいときに。
（☞36ページ）

確定スイッチ
選んだ設定の内容を確定します。

ぬるめスイッチ・ランプ
おふろのお湯をぬるくしたいときに。
（☞35ページ）

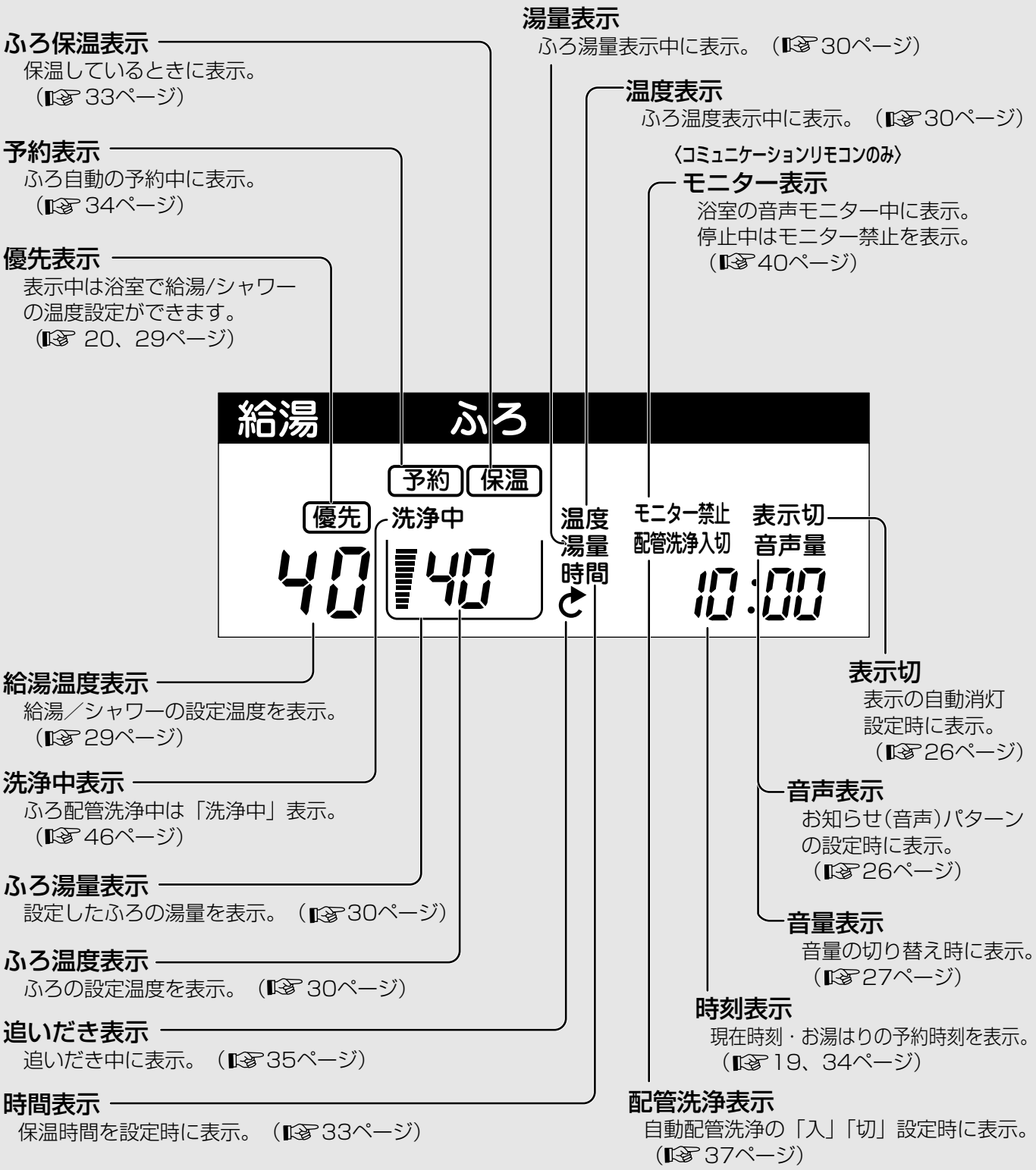
コミュニケーションリモコンのみ

メニュースイッチ
メニュー を押すごとに次の設定ができます。

リモコン「入」のとき（☞24ページ）	リモコン「切」のとき（☞26ページ）
①給湯温度の設定	①お知らせ（音声）パターンの設定
②ふろ温度の設定	②音量の設定
③ふろ湯量の設定	③ふろ自動保温時間の設定
④お湯はり（ふろ自動）の予約の設定	④表示の自動消灯設定
⑤洗浄運転の設定	⑤表示明るさの設定
⑥現在時刻の設定	⑥自動配管洗浄の設定
	⑦現在時刻の設定

操作カバーを閉めたとき

浴室リモコン（画面表示部）



●上記画面表示は、説明のため全部表示したものです。

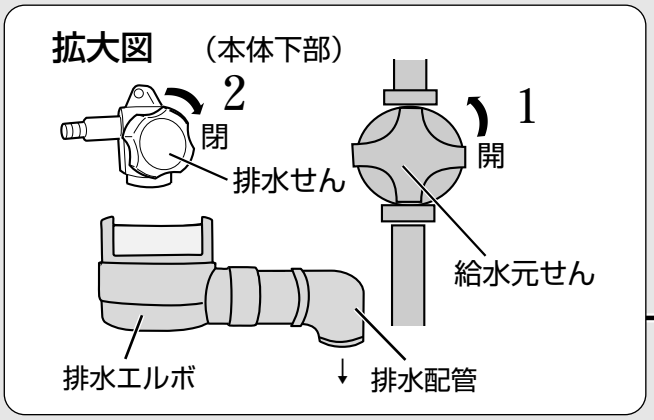
はじめてお使いになるとき

はじめてお使いになるときは販売店（工事店）に下記のことが実施されているかどうかご確認ください。

1 給水元せんを開く

2 排水せんを閉じる

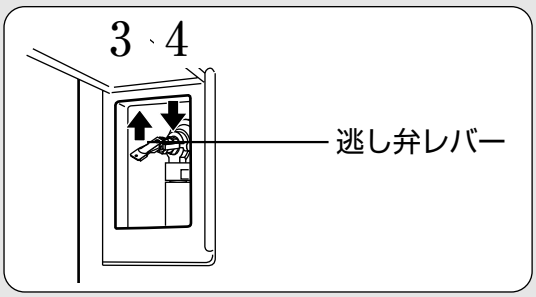
- 右に回すと「閉」になります。



3 逃し弁レバーを上げる

- 約30～40分でタンクが満水になります。
- ドレン口または排水配管から水が出始めたら、タンクは満水です。
- タンクを満水にしないと、運転が停止します。

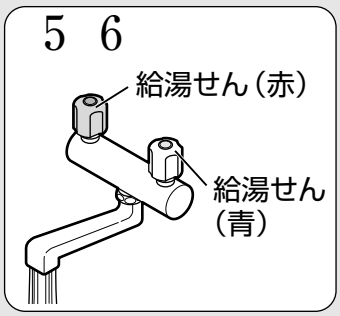
4 満水になったら逃し弁レバーを下げる



5 混合水せんのお湯側を開く

- 混合水せんから水が出ることを確認してください。（混合水せんの種類と操作方法は下図参照）

6 混合水せんのお湯側を閉じる

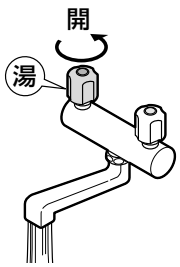


混合水せんの種類と操作方法

お湯の出し方は混合水せんのタイプにより異なります。

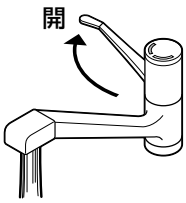
2バルブタイプ

お湯側（給湯せん）を開く



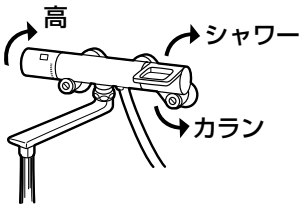
シングルレバータイプ

お湯側にレバーを回す



サーモスタットタイプ

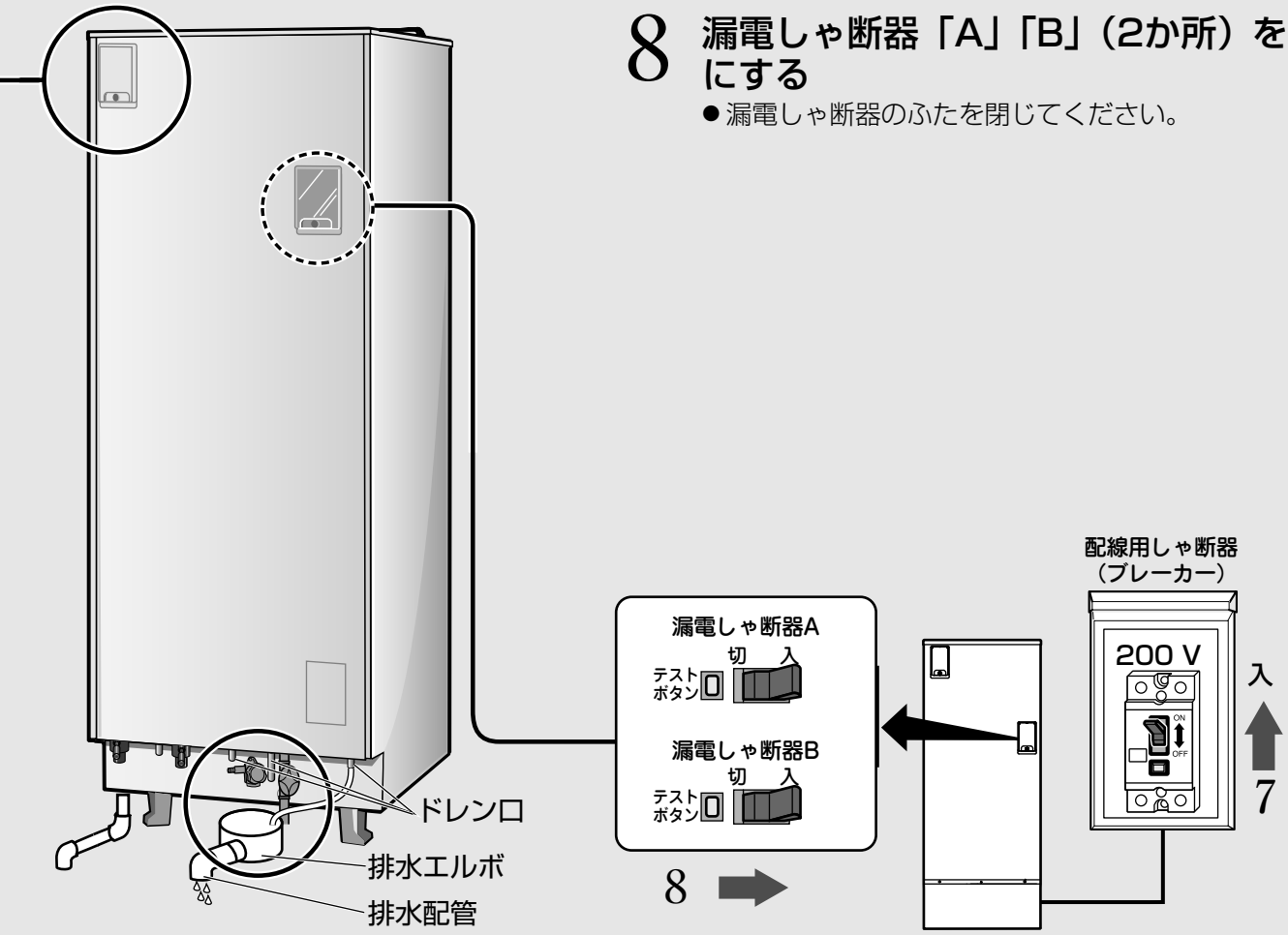
湯温調節つまみを「高」側にして給湯せんを開く



7 配線用しゃ断器（ブレーカー）を「入」にする

8 漏電しゃ断器「A」「B」（2か所）を「入」にする

- 漏電しゃ断器のふたを閉じてください。



タンクの水が全量沸き上がるのは翌朝です

お知らせ

- タンクが満水でないと運転が停止します。

早見表　主な使いかた

台所・洗面所でお湯を使う

・・☞28ページ

1 台所優先を確認する

優先

優先表示
（☞20ページ）

表示されていないとき
➡浴室リモコンの優先を取り消す

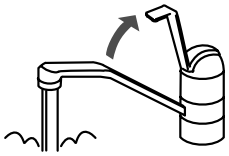
2 ▼▲で温度を設定する

40

給湯温度

3 確定を押す

4 給湯せんを開ける



おふろにお湯をはる

・・☞30、31、32ページ

※浴そうのせん・ふたをしておく。
※前回と同じふろ温度設定、湯量設定の場合は、ふろ自動スイッチを押すだけで、お湯はりを開始します。
※ふろ温度、湯量の設定（下記手順1～6）は浴室リモコンでしか設定できません。

1 メニューを2回押す

2 ▼▲でふろ温度を設定する

40 ― ふろ温度

3 メニューを押す

4 ▼▲で湯量を設定する

4 ― ふろ湯量

5 確定を押す

6 ふろ自動を押す ➡ 設定した温度・湯量になると、自動的に停止します

➡自動保温・自動足し湯運転開始
（☞32ページ）

〈コミュニケーションリモコンのみ〉

通話（音量設定）のしかた

・・☞38、39、41ページ

1 通話を押す ➡ メロディー終了後、ゆっくり話す

1 通話を押す ➡ メロディー終了後、通話を押しながらゆっくり話す

※通話をやめるときは、再度 通話 を押してください。

〈通話の音量設定〉

通話ランプ点灯中に▼▲を押す

音量表示（1～3）は数字が大きいほど音量が大きくなります。

●浴室リモコンで下記の操作をするときは、浴室リモコンを「入」にしておいてください。

浴室でお湯・シャワーを使う ・・☞29ページ

1 優先 を押す

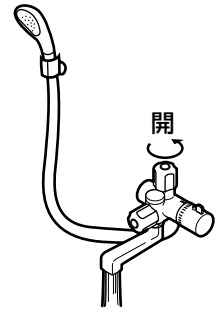
優先
優先表示
(☞20ページ)

2 ▼▲ で温度を設定する

40
給湯温度

3 確定 を押す

4 給湯せんを開く



入浴中に湯かげんを調節する ・・☞35ページ

あつくするとき

1 追いだき を押す

途中で止めたいとき
➡ 再度 追いだき を押す

ぬるくするとき

1 ぬるめ を押す

➡ 約10 L水を足します

途中で止めたいとき
➡ 再度 ぬるめ を押す

入浴中に湯量を多くする ・・☞36ページ

1 足し湯 を押す

➡ 約20 L足し湯します

途中で止めたいとき
➡ 再度 足し湯 を押す

〈コミュニケーションリモコンのみ〉

浴室の音声をモニターする ・・☞40〜41ページ

音声をモニターするとき

1 通話 を押す

➡ 台所で浴室の様子を音でモニターできます

音声のモニターを禁止するとき

1 確定 を押す

➡ 台所で浴室の音声をモニターできなくなります

音声モニター禁止を止めたいとき
➡ 再度 確定 を押す

使用上のお願いとお知らせ

■リモコンの時刻が正しく表示しているかを確認してください。

- 初めて入居されたときや停電のときなどにリモコンの時刻表示が点滅し、ブザーが鳴る場合があります。その場合、「現在時刻を合わせる」（☞ 19ページ）にしたがって現在時刻を設定してください。

A「時間帯別料金対応通電制御型」 C「季節別時間帯別電灯契約通電制御型」	で契約の場合

- 万一時刻が大幅にずれていますと、思わぬ電気代がかかります。

※正しく時刻を合わせても大幅に時刻がずれてくるときは、販売店にご相談ください。

■湯切れにご注意ください。

- 沸き上げ湯量の設定によっては、お湯の使用量が多いと湯切れすることがあります。
  - シャワーはこまめに止めてください。
  - 台所での流し洗いはぬるめの温度で使用してください。
- 前日の浴そうの残り湯を沸かし直しする場合は、タンク内のお湯を多量に使用します。
  - 残湯量表示で湯量を確認してください。
    残湯量が少ないと湯切れする場合があります。

■タオル、浴そうなどが青くなることがあります

参考：社団法人　日本銅センター発行「銅と衛生」

使用地域の水質により、ごくまれに薄青くなることがあります。これは、水中に含まれるわずかな銅イオンと、せっけんなどに含まれる脂肪酸とが反応しておこるもので、人体には害はありません。
青い汚れは給湯機の使い始めの時期に発生しやすく、時間経過とともに発生しにくくなります。

- **タオルや布の場合**
  70～80 ℃のお湯に食酢を混ぜて10～15 %溶液を作り、浸漬すると脱色します。
- **浴そうの場合**
  市販の浴室用洗剤でこまめに掃除してください。汚れを放置しますと取れにくくなります。汚れが取れにくい場合は、油汚れ専用洗剤をお使いください。汚れがひどいときは、洗剤をつけ数分間放置すると効果的です。使用後はすぐに水で十分に洗い流してください。

■入浴剤などについて

次のような入浴剤などは使用しないでください。（機器故障の原因）

- 生薬（葉、茎、その他固形のもの）
- ミルク成分配合
- 異種の入浴剤を同時に混ぜたもの
- 浴そう内でのせっけんの使用

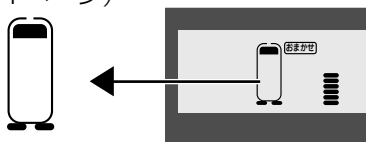
※硫黄、酸、アルカリを含んだ入浴剤、洗剤は、それらの注意書をよく読んで、機器に影響のないものを使用してください。

■お湯を使う前に

やけど防止のため、混合水せんの湯温調節つまみを「低」側にしてから給湯せんを開き、お湯をお使いください。

■台所リモコンの「残湯量表示」にご注意ください。

- リモコンの「残湯量表示」が下図のようになっていると使用できるお湯の量がわずかになっています。（☞ 11ページ）



A「時間帯別料金対応通電制御型」 C「季節別時間帯別電灯契約通電制御型」	で契約の場合

- 🫙または🫙が表示されると電気温水器が湯切れ沸き増しを開始します。

B「深夜電力通電制御型」で契約の場合

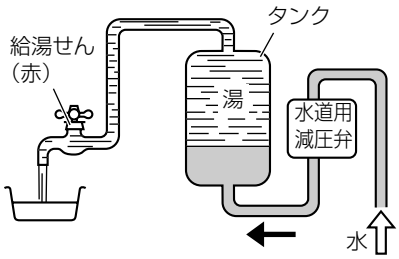
次のように多量のお湯を使用すると、湯量不足の原因になりますのでご注意ください。

- 入浴のたびにお湯を入れ替えたり、１日2回以上入浴したとき。
- 来客などで入浴人数が増えたとき。
- 食器洗いや洗濯などで、湯を流し洗いしたとき。
- 深夜通電時間帯に多量のお湯を使用したとき。

（翌日の湯量が少なくなることがあります。）

■お湯が出るしくみ

- 電気温水器のタンクは、水道用減圧弁で一定の水圧に調整され、常に満水状態になります。
- 給湯せん（赤）を開くと、タンク下部の給水口より自動的に給水され、タンク内のお湯は水道水の圧力で押し出されます。

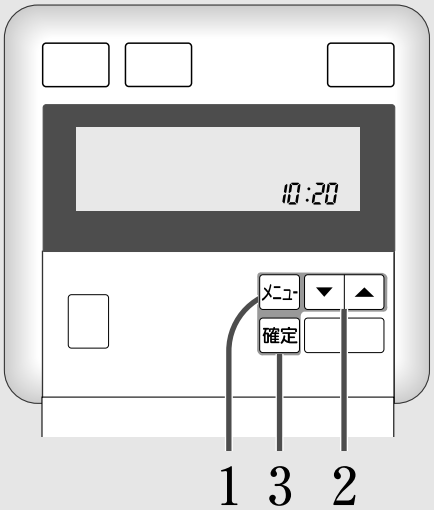


現在時刻を合わせる

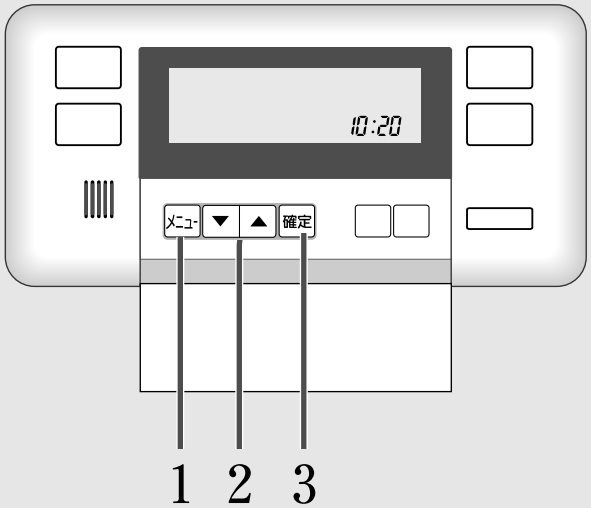
工場出荷時にリモコンの現在時刻を合わせてありますが、大幅にずれている場合は、思わぬ電気料金がかかることがありますので、次の手順で「現在時刻」を合わせてください。

台所、浴室のどちらのリモコンでも現在時刻を合わせられます。片方のリモコンで合わせると、もう片方のリモコンに反映されます。

<台所リモコン>



<浴室リモコン>



台所リモコンの場合

1 メニュー を9回（※8回）押す

時刻表示が点滅します。

浴室リモコンの場合
　リモコン「入」：6回押す
　リモコン「切」：7回押す

※深夜電力通電制御型でご契約の場合

「現在時刻が変更できます」

2 ▼ ▲ で「現在時刻」を合わせる

時刻表示が変わります。

- 1回押すと1分ずつ変わり、押し続けると10分ずつ変わります。

3 確定 を押す

時刻が点灯し、コロンが点滅します。
時計が動き始めます。

「設定されました」

- 確定 を押さなかった場合、1分後にその時刻表示がセットされ、点灯に変わります。

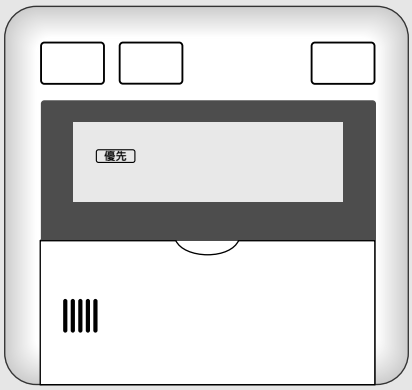
- 時刻設定はご使用に応じた正しい電力料金算定に必要です。
- 昼の12時は12：00、夜の12時は　0：00と表示します。
- 停電時でも再設定の必要はありません。（通電のない場合でも、約5年間記憶しています。）

知っておいてください

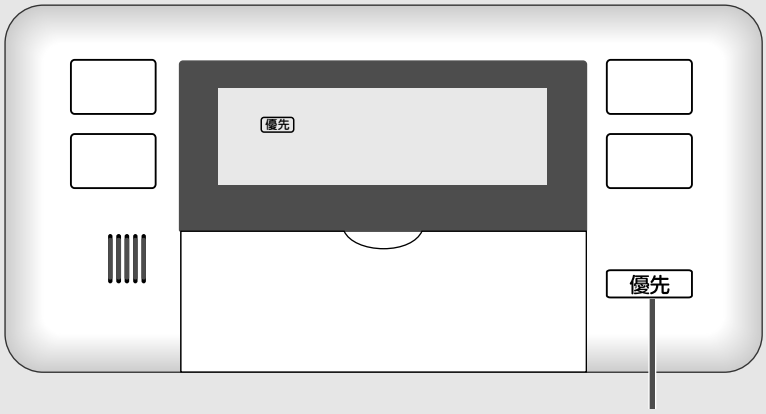
給湯温度の優先設定について

■優先表示が出ているリモコンで給湯温度の設定ができます。
浴室でお湯を使用するときは、浴室優先にしてください。
台所優先のまま浴室でお湯を使用すると、給湯温度を高く設定されたときにやけど等の事故につながるおそれがあります。
優先表示を変更すると、優先 が表示しているリモコンの給湯温度になります。

<台所リモコン>



<浴室リモコン>



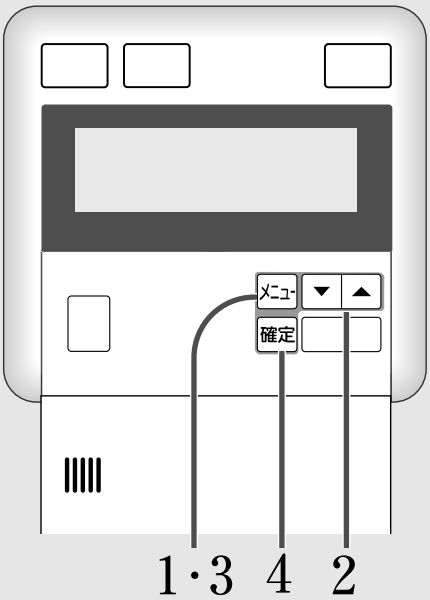
優先スイッチを押すごとに、浴室優先と台所優先が切り換わります。

浴室リモコンの切／入スイッチについて

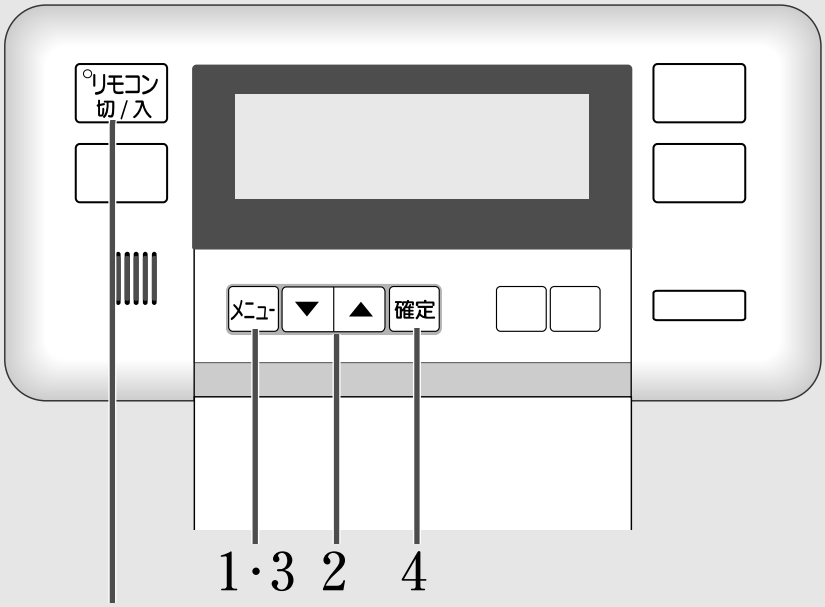
■浴室リモコンで操作するときは「入」にしてください。「入」にするとランプが点灯します。
■おふろをご使用にならないとき、浴室リモコンを「切」にすると全ての表示が消えます。優先表示は台所優先に切り換わります。ただし、給湯／シャワー温度の設定が60 ℃の場合、「60」のみが表示されます。
■台所リモコンの ふろ自動 を押すと、自動的に浴室リモコンが「入」になり、表示が点灯します。

メニュー設定を切り換える

<台所リモコン>



<浴室リモコン>



リモコン「入」と「切」の設定内容は異なります。
(☞ 24～27ページ)

1 メニュー を押す

●押すごとに設定画面が切り換わります。

2 変更したい設定画面になってから ▼ ▲ を押す

●設定の変更ができます。

■他の設定も変えるとき

3 メニュー を押す

● 2 で変えた設定を確定させ、次の設定画面にすすみます。

■設定を終わりたいとき

4 確定 を押す

● 表示中の設定を確定させ通常表示に戻ります。

メニュー設定を切り換える〈台所リモコン〉

メニュー を1回押すと…（☞ 28ページ）

給湯温度の設定〈給湯/シャワー温度の設定〉

「給湯温度が変更できます」

優先 40

- 給湯温度を表示
- 優先 を表示していない場合、浴室リモコンの 優先 を取り消してください。
- メニュー を押さなくても給湯温度の設定はできます。

▼ ▲ 押すと

優先 41　温度を上げる

優先 39　温度を下げる

メニュー を2回押すと…（☞ 42、43ページ）

沸き上げ湯量の設定

「沸き上げ湯量が変更できます」

連続 ●多め 標準 少なめ

- おまかせ になっているときは おまかせ を押して取り消してください。

▼ ▲ 押すと

<連続>　<多め>　<標準>　<少なめ>

●連続 多め 標準 少なめ ▶ 連続 ●多め 標準 少なめ ▶ 連続 多め ●標準 少なめ ▶ 連続 多め 標準 ●少なめ

※通常は おまかせ モードで使用されることをおすすめします。

メニュー を5回（4回）押すと…

お知らせ（音声）パターンの設定

「お知らせパターンが変更できます」

音声 1

▼ ▲ 押すと

音声 1　「メロディーと音声でお知らせします」

音声 2　「メロディーだけでお知らせします」

音声 3　「ブザーでお知らせします」

メニュー を6回（5回）押すと…

音量の設定

「音量が変更できます」

音量 2

- 音量のレベルを表示します。

▼ ▲ 押すと

音量 0　「音量ゼロです」

音量 1　「音量小です」

音量 2　「音量中です」

音量 3　「音量大です」

メニュー

▼ ▲

メニュー を3回押すと…（☞ 42ページ）

〈※深夜電力通電制御型の場合は設定できません〉

残湯量の設定〈湯切れ沸き増し開始の残湯量の設定〉

「残湯量設定が変更できます」

●タンクの左に表示します。

▼ ▲ 押すと

2つ表示（370 Lタイプ:100 L / 460 Lタイプ:125 L）
→ で湯切れ沸き増し開始

1つ表示（50 L）
→ で湯切れ沸き増し開始

メニュー を4回（3回）押すと…

電力量確認表示〈使用した電力量のめやすを表示〉

「電力量をお知らせします」

昼間 電力量 3

積算日数:0〜99（日）まで表示
積算電力量:0〜999（kWh）まで表示
99または999を超えると0に戻ります。

▼ ▲ 押すと

昼間 電力量 3 「昼間の電力量です」

夜間 電力量 12 「夜間の電力量です」

電力量（kWh）

昼間 積算 電力量 26 72 前日までの 「昼間の積算電力量です」

夜間 積算 電力量 26 3 11 前日までの 「夜間の積算電力量です」

積算日数

昼間 夜間 積算 電力量 3 11 「電力量をリセットできます」

この状態で 確定 を押すと、電力量をリセットできます。

を7回（6回）押すと…

表示の自動消灯設定

「表示の自動消灯入り切りが変更できます」

表示切 0

●自動消灯「入」の場合、約30分間スイッチ操作をしないと自動消灯します。消灯後、いずれかのスイッチを操作すると再び点灯します。

●自動消灯後に表示の確認を行うときは、確定 を押してください。

押すと

表示切 1 「自動消灯します」

表示切 0 「自動消灯しません」

メニュー を8回（7回）押すと…

表示明るさの設定

「表示の明るさが変更できます」

▼ ▲ 押すと

沸上中 優先 88 表示 1

沸上中 優先 88 表示 2

沸上中 優先 88 表示 3

メニュー を9回（8回）押すと…（☞ 19ページ）

現在時刻の設定

「現在時刻が変更できます」

6:00

▼ または ▲ を押し、現在時刻を合わせる

↓

確定 を押す

お知らせ

- 確定 を押すと変更内容を確定して、通常表示に戻ります。
- 確定 を押さない場合、15秒後（現在時刻の設定は60秒後）に変更内容を確定し、通常表示に戻ります。ただし、電力量は 確定 を押さないとリセットできません。

メニュー設定を切り換える〈浴室リモコン〉

〈リモコン切/入 が「入」のとき〉

メニュー を1回押すと…（☞ 29ページ）

給湯温度の設定〈給湯/シャワー温度の設定〉

「給湯温度が変更できます」

優先 40

- 給湯温度を表示
- 優先 表示を確認してください。
- メニュー を押さなくても給湯温度の設定はできます。

▼ ▲ 押すと

優先 41	温度を上げる
優先 39	温度を下げる

メニュー を4回押すと…（☞ 34ページ）

お湯はり（ふろ自動）の予約の設定

「ふろ自動の予約ができます、確定スイッチを押してください」（予約していないとき）

「ふろ自動の予約を取り消すことができます。確定スイッチを押してください」（予約しているとき）

▼ ▲ 押すと 予約時刻を変更できます。

メニュー を4回押し、確定 を押すと、予約の設定、取り消しができます。

メニュー を5回押すと…（☞ 46ページ）

洗浄剤による洗浄運転の設定

「洗浄運転の操作ができます 確定スイッチを押してください。」

洗浄中

「洗浄中」が表示しているときに、メニュー を5回押し、確定 を押すと洗浄運転を取り消すことができます。

メニュー を2回押すと…（☞ 30ページ）

ふろ温度の設定

「ふろ温度が変更できます」

温度 40

▼ ▲ 押すと

温度 41　温度を上げる

温度 39　温度を下げる

メニュー を3回押すと…（☞ 30ページ）

ふろ湯量の設定

「ふろ湯量が変更できます」

湯量 4

▼ ▲ 押すと

リモコンの表示は下図のようになります。

1 ～ 10 ～ 15（10以上は数値のみ変わります）

10→11は▲を3秒間押してください。

メニュー を6回押すと…（☞ 19ページ）

現在時刻の設定

「現在時刻が変更できます」

6:00

▼ または ▲ を押し、
現在時刻を合わせる

↓

確定 を押す

お知らせ

- 確定 を押すと変更内容を確定して、通常表示に戻ります。
- 確定 を押さない場合、15秒後（現在時刻の設定は60秒後）に変更内容を確定し、通常表示に戻ります。ただし、お湯はり予約の設定・洗浄運転の設定・取り消しは 確定 を押さないとできません。

メニュー設定を切り換える〈浴室リモコン〉

〈リモコン切/入 が「切」のとき〉

メニュー を1回押すと…

お知らせ（音声）パターンの設定

「お知らせパターンが変更できます」

音声 1

▼ ▲ 押すと

音声 1 「メロディーと音声でお知らせします」

音声 2 「メロディーだけでお知らせします」

音声 3 「ブザーでお知らせします」

メニュー を4回押すと…

表示の自動消灯設定

「表示の自動消灯入り切りが変更できます」

表示切 0

●自動消灯入の場合、約30分間スイッチ操作しないと自動消灯します。消灯後、いずれかのスイッチを操作すると再び点灯します。

▼ ▲ 押すと

表示切 1 「自動消灯します」

表示切 0 「自動消灯しません」

メニュー を5回押すと…

表示明るさの設定

「表示の明るさが変更できます」

▼ ▲ 押すと

表示 1

表示 2

表示 3

メニュー を2回押すと…

音量の設定〈お好みに応じて音量を設定〉

「音量が変更できます」

音 量 2

●音量のレベルを表示します。

▼ ▲ 押すと

音 量 0 「音量ゼロです」

音 量 1 「音量小です」

音 量 2 「音量中です」

音 量 3 「音量大です」

メニュー を3回押すと…（☞ 33ページ）

ふろ保温時間の設定

「保温時間が変更できます」

保温 6 時間

▼ ▲ 押すと

保温 0 時間

保温 6 時間

メニュー を6回押すと…（☞ 37ページ）

自動配管洗浄

「自動配管洗浄の入り切りが変更できます」

配管洗浄入

▼ ▲ 押すと

配管洗浄 切

配管洗浄入

メニュー を7回押すと…（☞ 19ページ）

現在時刻の設定

「現在時刻が変更できます」

6:00

▼ または ▲ を押し、現在時刻を合わせる

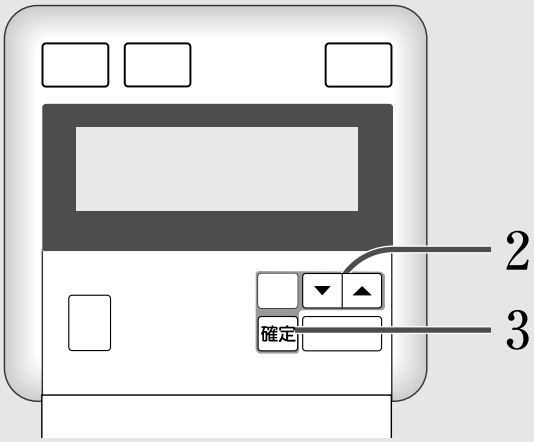
確定 を押す

お知らせ

- 確定 を押すと変更内容を確定して、通常表示に戻ります。
- 確定 を押さない場合、15秒後（現在時刻の設定は60秒後）に変更内容を確定し、通常表示に戻ります。

台所・洗面所でお湯を使う

<台所リモコン>



1 台所優先を確認する

優先表示（☞ 20ページ）

●優先表示が消えているときは
➡ 浴室リモコンの 優 先 を押す。

2 〈給湯温度を変更する場合〉 ▼ ▲ で 温度を設定する

「優先スイッチを押してください」

●台所優先になっていないときは、音声とブザーでお知らせします。

◆温度の調節範囲

(℃)

32	35	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	60
低温		1 ℃きざみで設定できます										高温

●60 ℃に設定した場合

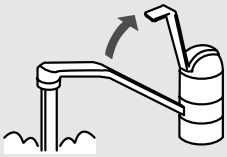
「あついお湯が出ます」

3 確定 を押す

「設定されました」

● 押さない場合は、15秒後に自動的に確定します。

4 給湯せんを開ける



お願い

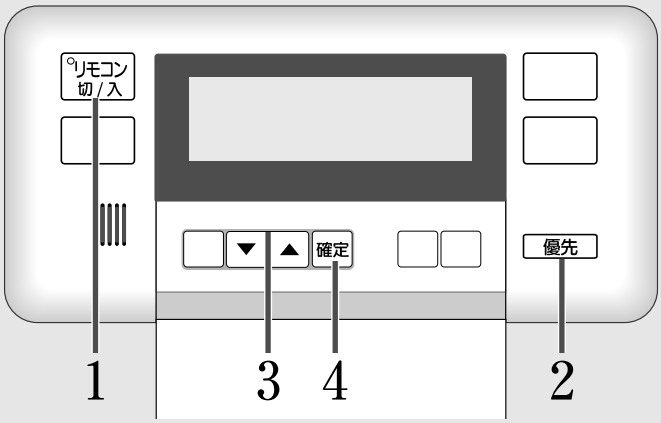
● サーモスタットタイプの混合水せんをご使用の場合は、リモコンの温度設定を使用されるお湯の温度より約10 ℃以上高い温度に設定してください。

お知らせ

● 優先表示の出ているリモコンの設定温度でお湯が出ます。
「優先設定について」（☞20ページ）
● 前回使用時と同じ温度で使用するときは、温度の設定をしなおす必要はありません。
● 給湯温度の表示は目安の温度です。蛇口、シャワーなどの湯温とは多少異なる場合があります。
● 水せんのタイプによっては、蛇口いっぱい開いても、蛇口から出るお湯の量が少なくなる場合があります。その時はお湯の温度設定を60 ℃にし、水と混合してご使用ください。
● 浴そうへのお湯はり中は、蛇口、シャワーから出るお湯の量が少なくなる場合があります。

浴室でお湯・シャワーを使う

<浴室リモコン>



1 リモコン 切/入 を押す

●リモコン切/入ランプ点灯。

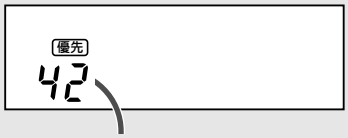
2 優先 を押す

●優先表示点灯。

優先表示（☞20ページ）

3 〈給湯温度を変更する場合〉▼ ▲ で温度を設定する

●浴室優先になっていないときは、音声とブザーでお知らせします。



給湯温度

◆温度の調節範囲

(℃)

32	35	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	60
低温		1 ℃きざみで設定できます										高温

●60 ℃に設定した場合

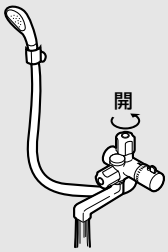
「あついお湯が出ます」

4 確定 を押す

「設定されました」

● 押さない場合は、15秒後に自動的に確定します。

5 給湯せんを開ける

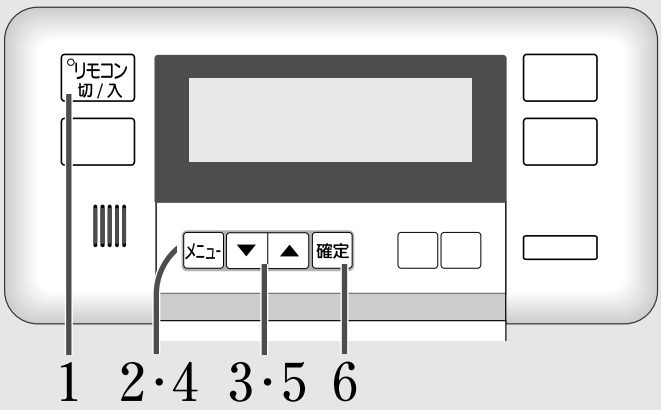


お願い

● 浴室でお湯・シャワーを使う場合、必ず浴室リモコンの 優先 を押し、優先表示を点灯させ、浴室優先にしてから使用してください。台所優先になっていると台所リモコンで設定した温度のお湯が出るため、やけどのおそれがあります。（☞20ページ）
例えば、台所優先のまま浴室でお湯を使用中、他の人が台所リモコンで給湯温度を上げた場合、浴室の給湯温度も自動的に上がります。
● その他の「お願い」「お知らせ」は28ページをご参照ください。

ふろ温度とふろ湯量（水位）の設定

<浴室リモコン>

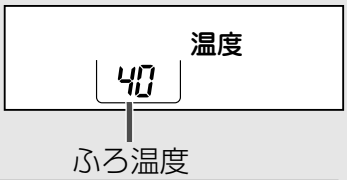


1 リモコン 切/入 を押す

●リモコン切/入ランプ点灯。

2 メニュー を2回押す

「ふろ温度が変更できます」



3 ▼ ▲ でふろ温度を設定する

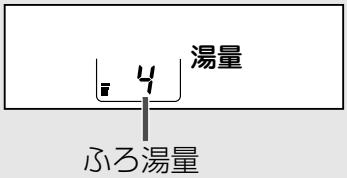
●36 ℃より下げると、水になります。
温度表示⇒「ーー」

◆ふろ温度の調節範囲

	(℃)												
水	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48
	1 ℃きざみで設定できます												

4 メニュー を押す

「設定されました」　「ふろ湯量が変更できます」

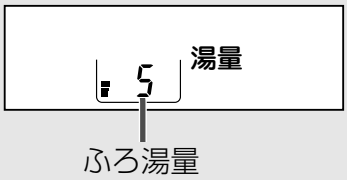


5 ▼ ▲ でふろ湯量を設定する

● リモコンの表示は下図のようになります。

1 ～ 10

（湯量は1～10まで設定することができます）



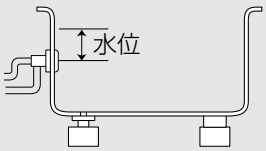
6 確定 を押す

●確定を押さない場合は、15秒後に自動的に確定します。

「設定されました」

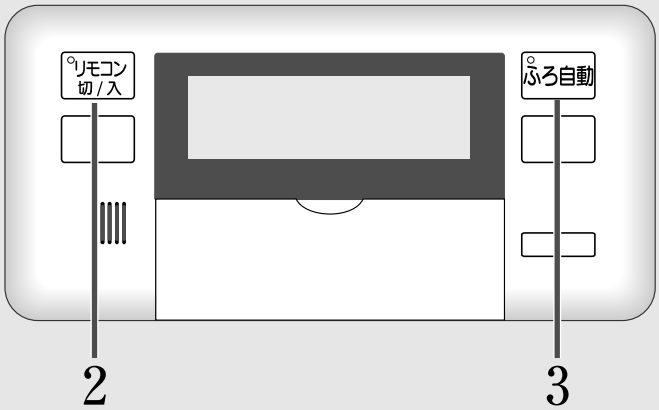
お知らせ

● ふろ温度表示の数字は目安の表示です。浴そう内の温度とは多少異なる場合があります。
● 「水位」は水面からふろアダプターの中心までの深さです。
水位「1」で約10～13 cmで、以降約2.5 cmきざみで設定できます。
● 湯量11→15は ▲ を再度3秒間押してください。
● はじめてお使いになるときは、目安の湯量を4に設定し、
湯量が少ない場合：設定を大きくする　　湯量が多い場合：設定を小さくする
● 保温中は、水位が下がってもすぐには設定水位に達しない場合があります。

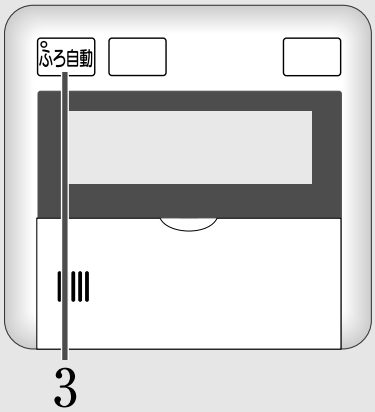


お湯はりをする

<浴室リモコン>



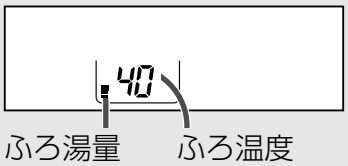
<台所リモコン>



1 浴そうのせんをして ふたをする

2 浴室リモコンの場合 リモコン切/入 を押す

● リモコン切/入ランプ点灯。



3 ふろ自動 を押す

「お湯はりをします」

● ふろ自動ランプ点灯。
● ふろ温度・湯量を確認する。
（変更する場合☞ 30ページ）

■お湯はり完了の少し前に

●♪（メロディー） 「もう少しでおふろが沸きます」

■お湯はり完了すると

●♪（メロディー） 「おふろが沸きました」

●各リモコンに 保温 が表示され、自動保温、自動足し湯が行われます。

お願い

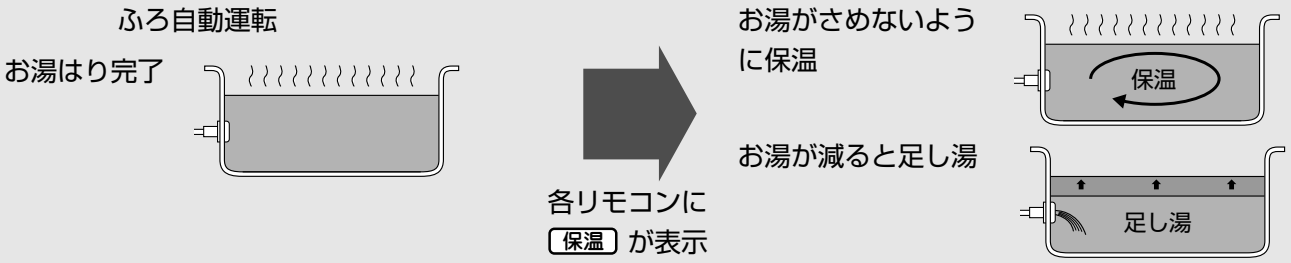
● 浴そうのお湯を排水するときは
ふろ自動を再度押し、必ずふろ自動運転を停止させてください。むだなお湯はりを防ぐためです。
● お湯はり中に ふろ自動 の「入」、「切」を行うと、ふろの湯量（水位）が設定よりも高くなったり、ふろの温度が低くなることがあります。

お知らせ

● 浴そうを2階に設置する場合は、お湯はり時間が長くなりますのでふろ予約をおすすめします。
● 台所リモコンの残湯量表示が
▯～▮のときにふろ自動運転をすると、ふろの温度が設定よりも低くなったり、湯切れしたりすることがあります。
● ふろ自動運転中に台所リモコンの 予約 を押すと、ふろ自動運転が停止し予約に切り換わります。
● ご使用条件により、お湯はり完了予告時間は変わります。また、音声でお知らせしないことがあります。（☞ 57ページ）
● お湯はり中、湯はり、停止を繰り返しますが、異常ではありません。
● ふろ温度の表示は目安の温度です。ふろ配管の長さや設置条件により多少異なる場合があります。

お湯はりが完了すると

お湯はりが完了すると、自動保温・自動足し湯を始めます。



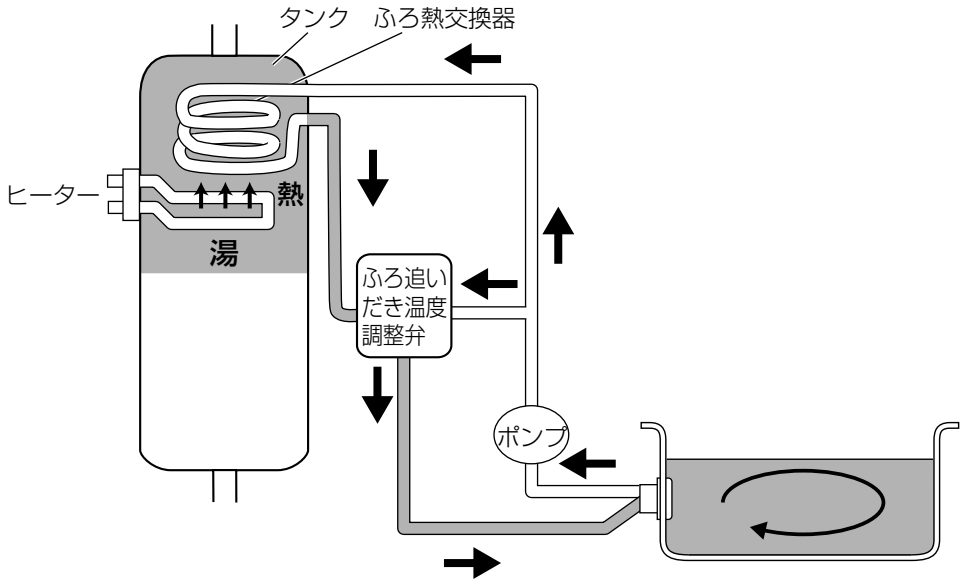
●ふろ自動運転は、お湯はり開始から1～6時間継続されます。

➡ ふろ自動運転時間は変更できます。（次ページ参照）
自動運転時間が終了するとふろ自動ランプと 保温 表示が消え、自動保温、自動足し湯を行いません。

➡ **ふろ自動運転を続けたいときは再度 ふろ自動 を押してください。**

■ふろ自動運転を途中で止めるとき ➡ 再度 ふろ自動 を押す

■保温、追いだきのしくみ



●保温、追いだき中はタンク内のお湯を使い、浴そうのお湯を保温または熱くします。

お願い

- **保温中にふろ接続アダプター（循環口）から設定温度より高い温度のお湯が出る場合がありますので、ふろ接続アダプターから離れてください。**
- 浴そうの水を排水するときは、必ず運転を停止させてください。

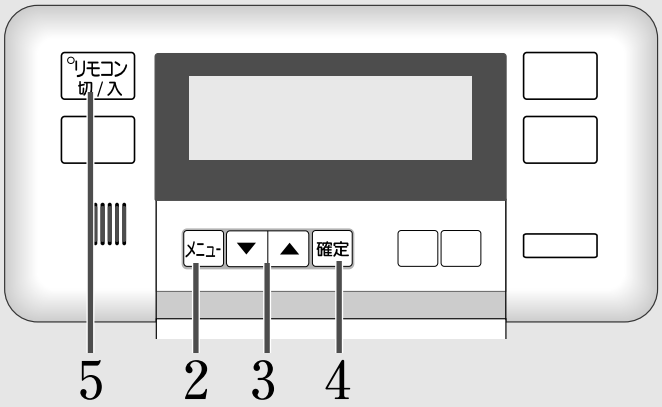
お知らせ

- 追いだきランプが点滅しているときは保温しません。
- 保温中は水位が下がってもすぐには設定水位に達しない場合があります。

ふろ保温時間の設定

- ふろ保温時間とは ふろ自動 を押してからの保温時間です。
- 工場出荷時は6時間に設定されています。

<浴室リモコン>



1 浴室リモコンが「切」(リモコン切/入ランプ消灯)になっていることを確認する

2 メニュー を3回押す

- 「6」は保温時間が6時間を示します。

保温
6 時間

「保温時間が変更できます」

3 ▼ ▲ で ふろ保温時間を合わせる

保温
5 時間

◆ふろ保温時間の調節範囲

(時間)

0	1	2	3	4	5	6
1時間きざみで設定できます						

4 確定 を押す

- 押さない場合は、15秒後に自動的に確定します。

「設定されました」

5 リモコン 切/入 を押す

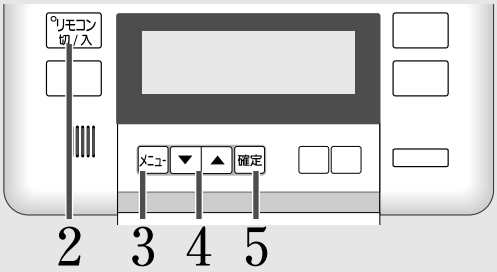
- リモコン切/入ランプ点灯。

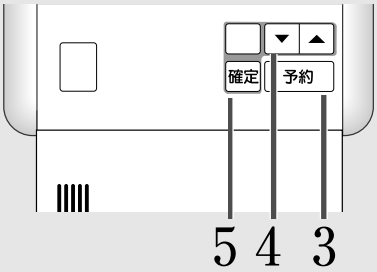
お知らせ

- 保温時間を0時間に設定すると、ふろのお湯はりが完了した時点でふろ自動運転を停止し、自動保温、自動足し湯は行いません。

お湯はりの予約をする

お湯はり完了時間の予約ができます。予約する前にリモコンの現在時刻が合っているか確認してください。
（☞19ページ）





1 浴そうのせんをしてふたをする

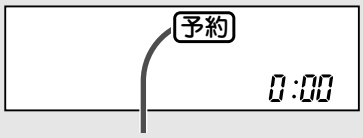
2 浴室リモコンの場合 リモコン 切/入 を押す

- リモコン切/入ランプ点灯。
- ふろ湯量・温度を確認する。（変更する場合☞30ページ）

3 浴室リモコンの場合 メニュー を4回押す

「ふろ自動の予約をします、確定スイッチを押してください」

台所リモコンの場合 予約 を押す



予約表示

4 ▼ ▲ でふろ予約時間を合わせる

- 2回目以降、予約時刻が前回と同じ場合、予約時刻を合わせる必要はありません。

予約時刻

5 確定 を押す

- 予約表示点灯。

「ふろ自動の予約が設定されました」

浴室リモコンの場合

■取り消したいとき（予約待機中）

メニュー を4回押し、確定 を押す

- 予約表示消灯。

台所リモコンの場合

■取り消したいとき（予約待機中）

再度、予約 を押す

- 予約表示消灯。

■予約運転中に運転を止めるとき

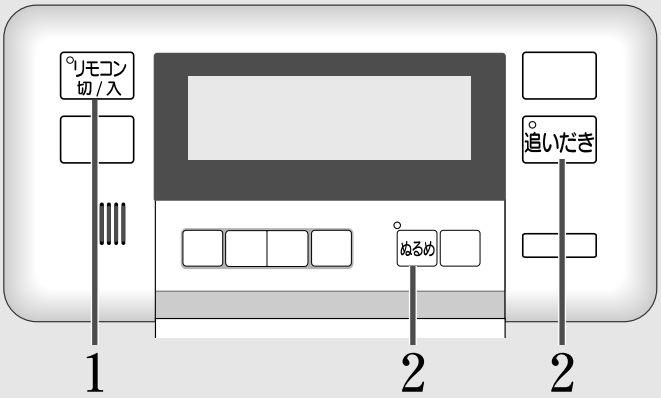
ふろ自動 または浴室リモコンの リモコン 切/入 を押す

お願い
- ふろ湯量・温度を調節する場合は、浴室リモコンで行ってください。

お知らせ
- お湯はりの予約をするたびに予約操作が必要です。
- 予約時は予約時刻より早くお湯はり完了するようになっていますが、水圧等の条件によりお湯はりを完了する時刻は設定時刻に対して、多少前後します。

湯かげんの調節をする

<浴室リモコン>



あつくしたいとき

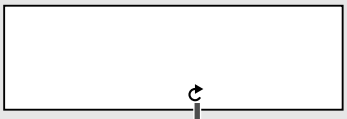
1 リモコン 切/入 **を押す**

● リモコン切/入ランプ点灯。

2 追いだき **を押す**

「追いだきをします」

● 追いだきランプ点灯。
● 追いだき表示点滅。
● おふろのお湯を循環させて、お湯を暖めます。
● おふろの湯温を設定温度より約2 ℃あつくします。おふろの湯温が設定温度より低いときは、設定温度まであつくします。



追いだき表示

■途中で止めたいとき…再度 追いだき を押す

浴そうの残り湯の沸かし直し

浴そうに残り湯があるとき ふろ自動 を押す

●設定した湯量（水位）までお湯はりした後、設定したふろ温度まで追いだきします。

ぬるくしたいとき

1 リモコン 切/入 **を押す**

● リモコン切/入ランプ点灯。

2 ぬるめ **を押す**

「ぬるめ運転をします」

● ぬるめランプ点灯。

■途中で止めたいとき…再度 ぬるめ を押す

お願い

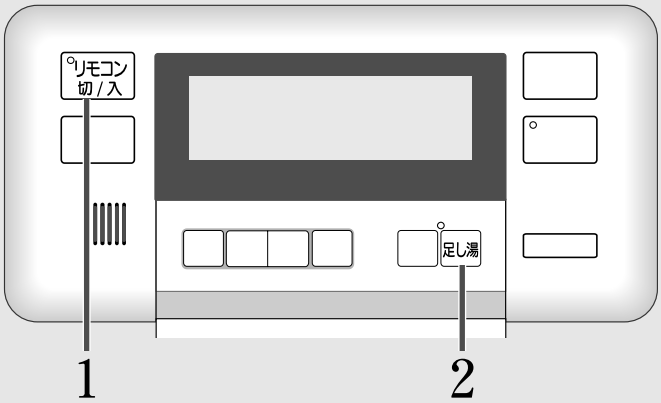
● 追いだきランプが点滅するときはタンク内のお湯が少ないため、追いだきできません。湯量設定を「おまかせ」または「多め」に設定し、残湯量の設定を2つ表示（370 Lタイプ：100 L、460 Lタイプ：125 L）に設定してください。（☞ 43ページ）
● 前日の残り湯を沸かし直すときなどは、タンク内のお湯を多量に使うため、お湯切れに注意してください。
● **追いだきを行うと、ふろ接続アダプター（循環口）からは設定温度よりも高い温度のお湯が出てきます。ふろ接続アダプターから離れてください。**

お知らせ

● 追いだきはタンク内の湯温が低下して追いだできなくなったら、ヒーターに通電して沸き増しします。
● 追いだきはタンク内のお湯を使い浴そうのお湯をあつくします。
● 追いだきまたはぬるめ動作の完了および途中で止めた後も約20秒間お湯や水が出ますが、異常ではありません。
● ぬるめ運転後、30分間は保温を行いません。
● 追いだき開始後しばらくの間、配管内に残っているぬるい水が出てくる場合があります。
● タンク内の湯温が低い場合、または浴そう内の湯温が低い場合は、追いだきが終了するまでの時間が長くなることや、途中で追いだきが取り消される場合があります。
● 浴そう内の水位がふろ循環アダプターより上の位置にないときは、追いだきは行いません。追いだき開始約7分で追いだきランプ、追いだき表示が消灯します。

湯量を多くする

<浴室リモコン>



1 リモコン切/入 **を押す**

● リモコン切/入ランプ点灯。

2 足し湯 **を押す**

● 足し湯ランプ点灯。
● ふろ湯はり温度で約20 L足し湯をします。

「足し湯をします」

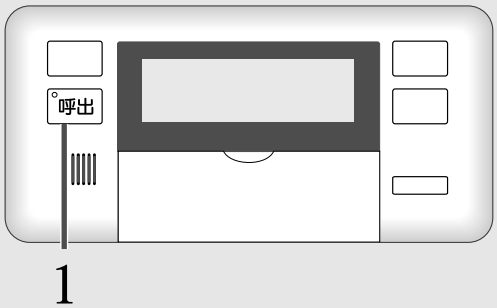
■途中で止めたいとき…再度 足し湯 を押す

お知らせ
● 足し湯を始めてしばらくの間、配管内に残ったぬるい水が出てくる場合があります。

浴室から呼び出す〈ボイスリモコンのみ〉

● おふろで呼んでいることを台所リモコンからお知らせします。
● 浴室リモコンの「切/入」にかかわらず呼び出せます。

<浴室リモコン>



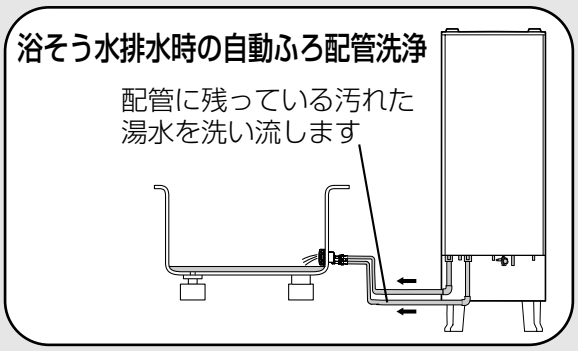
1 呼出 **を押す**

● 呼出ランプ点灯。

「おふろで呼んでいます」

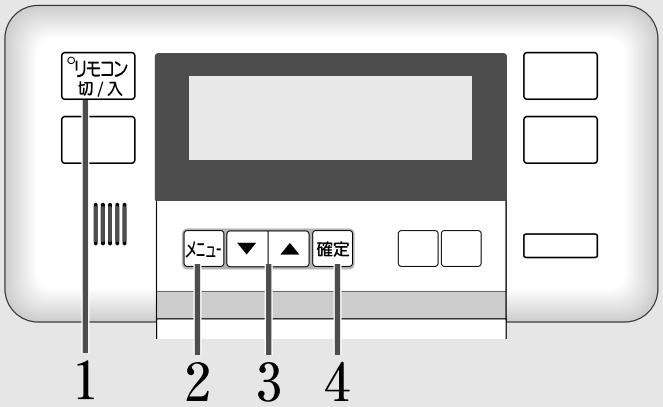
自動配管洗浄の設定

- 浴そうにお湯はりをする配管の洗浄を行います。
- 「配管洗浄」を「入」にすると、浴そうのお湯を排水するときに自動的に約10 Lの水を配管に流して、配管内の汚れた湯水を流し出します。
- 工場出荷時は「配管洗浄」は「切」になっています。



※洗浄のタイミングは浴そうの大きさによって異なりますが、ふろアダプターの少し上までお湯が減りますと、約2分後に洗浄を行います。

<浴室リモコン>

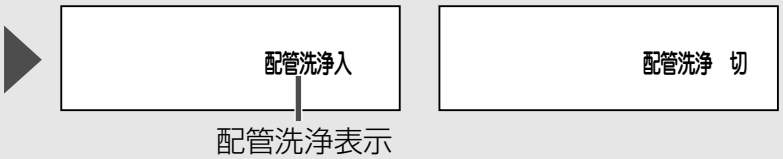


1 浴室リモコンが「切」(リモコン切/入ランプ消灯)になっていることを確認する

2 メニュー を6回押す

「自動配管洗浄の入/切が変更できます」

3 ▼ ▲ で「入」または「切」を選ぶ



4 確定 を押す

「設定されました」

お知らせ

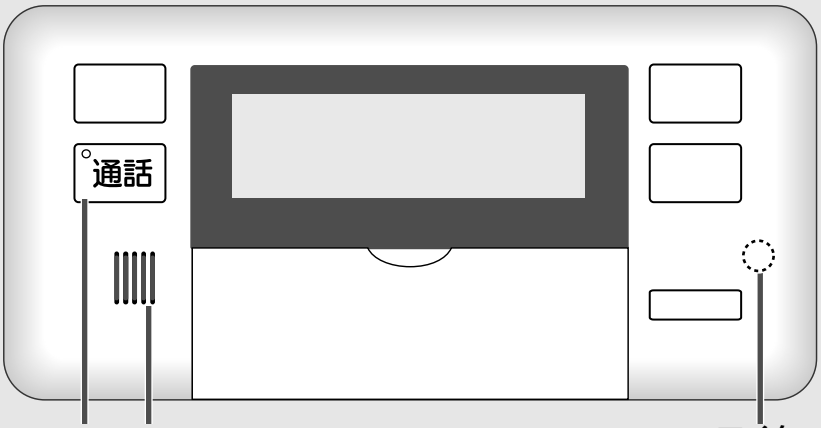
- 自動配管洗浄は配管内の汚れた湯水を流し出すものです。洗浄剤は不要ですが、約6か月ぐらい経過すると湯あかなどがたまってきますので、洗浄剤を用いた洗浄運転を行ってください。(☞46ページ)

<コミュニケーションリモコンのみ>

浴室リモコンから通話する

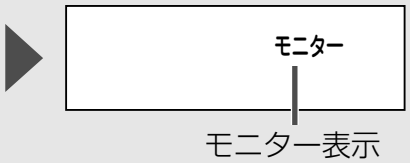
- 浴室と台所の間で通話ができます。
- 浴室リモコンの「切」「入」音量設定の大きさにかかわらず通話できます。
- 相手の話が終わってから話してください。両方から同時に話すことはできません。

<浴室リモコン>



1 通話 を押す

- 通話ランプ点灯。
- モニター表示点灯。
- 呼び出しメロディーが鳴る。（約2秒間）
- メロディーが鳴っている間は通話できません。



2 メロディー終了後、ゆっくり話す

- リモコンに向かって、ゆっくり話をしてください。
- 指を離したまま話をすることができます。
- 台所リモコン側で通話スイッチが押されている間は、通話ランプが点滅します。この間は、浴室リモコンからは話せません。

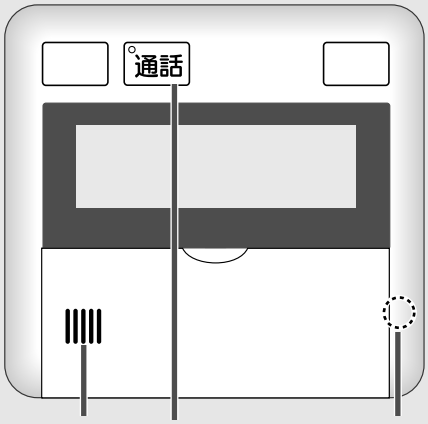
■通話を止めたいとき…再度 通話 を押す

- 通話ランプ消灯。
- モニター表示消灯。

- お湯はり・追いだき・ぬるめ・足し湯中でも音声のモニター・通話ができます。
- 通話のときは➡リモコンから50 cm程度の距離で話してください。
  ➡メロディーや声でお知らせしているときは通話できません。
- 言葉が途切れたり、声が小さいときは、リモコンに近づいて話してください。

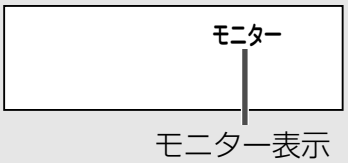
台所リモコンから通話する

<台所リモコン>



1 通話 を押す

- 通話ランプ点灯。
- モニター表示点灯。
- 呼び出しメロディーが鳴る。（約2秒間）
- メロディーが鳴っている間は通話できません。



2 メロディー終了後、通話 を押しながらゆっくり話す

- 押しているときに通話ランプ点滅。
- リモコンに向かって、ゆっくり話をしてください。
- 押し続けると最大3分間話をすることができます。
- 通話 を押していないときは、浴室からの話が聞こえます。
- 通話ランプ点灯中に再び台所リモコンから通話したいときは、再度通話スイッチを押しながら話してください。

■通話を止めたいとき…再度 通話 を押す

- 通話ランプ消灯。
- モニター表示消灯。

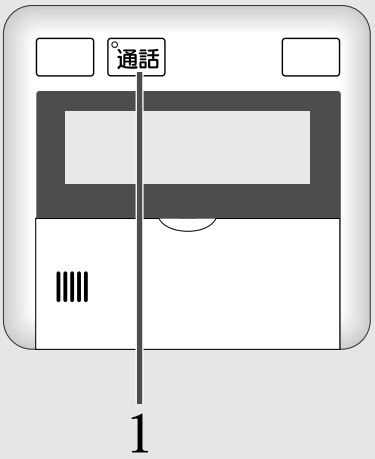
- ハウリング（キーンなどの大きな音）を起こす場合
  ➡台所リモコンと浴室リモコンの設置場所が近い場合などに発生することがあります。この場合、音声モニター・通話の音量を下げてください。（☞41ページ）
- 浴室リモコンを「切」にしても、音声モニター・通話状態は取り消されません。
- 使用環境・条件によっては、通話音声に雑音が混ざったり、一瞬途切れることがありますが、これはリモコンの故障ではありません。
- 通話中に浴室リモコンなどを操作すると、スイッチを押した音が相手に聞こえることがあります。

<コミュニケーションリモコンのみ>

音声をモニターする

音声モニターとは……台所で浴室の様子を音により確認する機能です。

<台所リモコン>

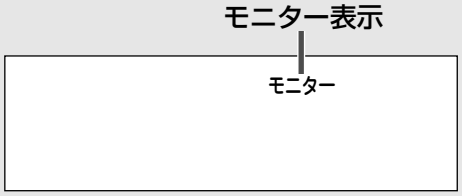


● 浴室リモコンの「切／入」にかかわらず音声モニターができます。

1 通話 を押す

● 通話ランプ点灯。
● 呼び出しメロディーが鳴る。（約2秒間）
● モニター表示が点灯し、浴室の様子が聞こえます。

モニター表示



● 約60分後、自動的に「切」になります。

■音声モニターを止めたいとき…

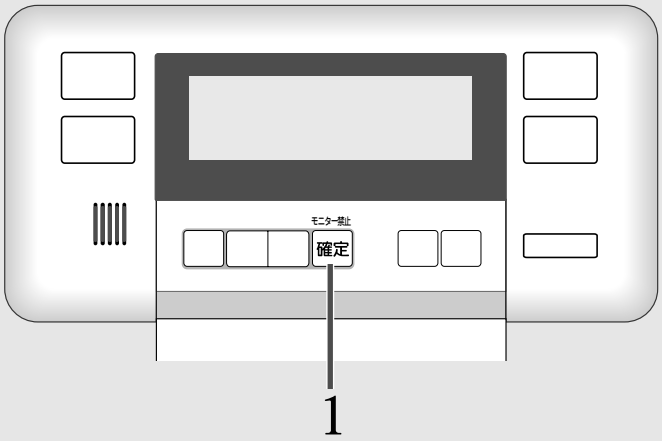
再度 通話 を押す

● 通話ランプ消灯。
● モニター表示消灯。

音声のモニターを禁止する

モニター禁止の設定を浴室リモコンでできます。

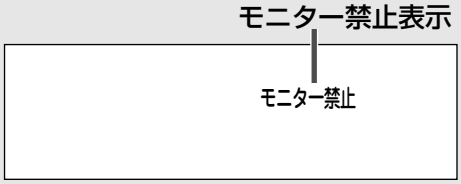
<浴室リモコン>



1 確定 を押す

● モニター禁止表示点灯

モニター禁止表示



● 約30分後、自動的にモニター禁止は取り消されます。

● 音声モニター禁止中はそれぞれのリモコンの通話スイッチを押しながら通話できます
（● 押し続けると、最大3分間通話ができます。
● 指を離すと、音声モニター禁止状態に戻ります。）

■音声モニター禁止を止めたいとき…

再度 確定 を押す

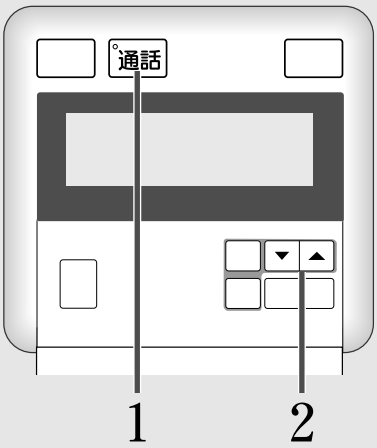
● モニター禁止表示消灯。

● 上記のほか、38～39ページのお知らせもあわせてお読みください。

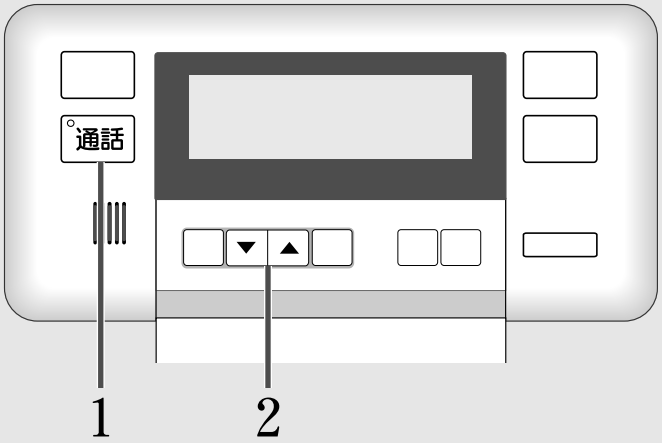
音声のモニター・通話の音量を調節する

初期設定は音量「2」に設定しています。浴室リモコン、台所リモコンそれぞれのリモコンで音量が設定できます。

<台所リモコン>



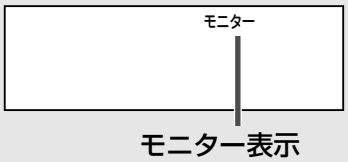
<浴室リモコン>



● 浴室リモコンの「切/入」にかかわらず音量調節できます。

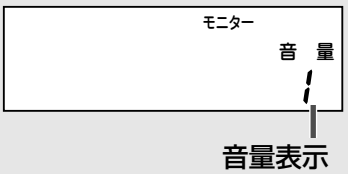
1 通話 を押す

● 通話ランプ点灯。
● モニター表示点灯。



2 ▼ ▲ を押し音量を設定する

● 設定後、約5秒たつと現在時刻に戻ります。



音量表示	音量レベル
1	小
2	中
3	大

● 通話中でも通話の音量を変更できます。

上手にお使いいただくために

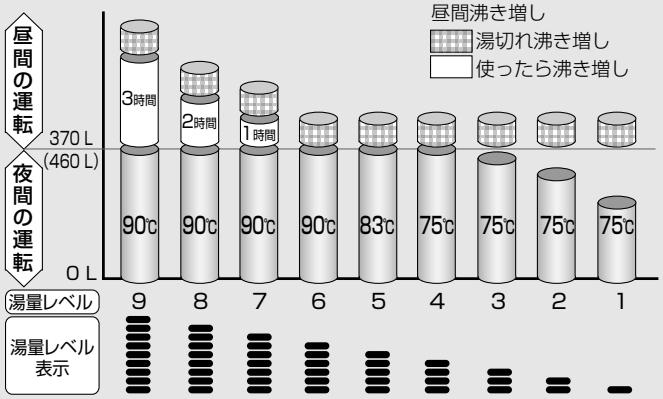
沸き上げ設定について

● １日の使用湯量に応じて、おまかせ運転か手動運転（4段階）で沸き上げ湯量の設定ができます。
まず１週間、工場出荷時の状態（おまかせ運転）でお使いください。使用状況を機器が学習し、お客様のお湯の使用量に合わせて自動的に沸きあげる湯量を設定します。
それでも湯余りや湯切れが気になる場合はお好みで手動運転に変更してください。

おまかせ運転

日々の使用湯量を学習し、湯量を自動的(9段階)に設定します。

- 必要な量だけお湯を沸き上げるのでむだが少なく、経済的です。
- ただし、お湯の使用量が急に多くなった場合は、湯切れする場合があります。
- 湯量レベル1の場合は、夜間の沸き上げ湯量が少なくなりますので、沸き上げ完了時の残湯量表示は となります。

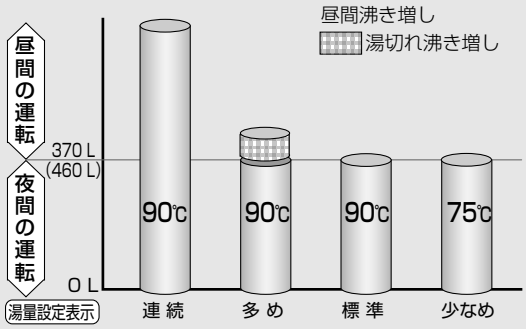


※深夜電力通電制御型契約の場合、湯量レベル1～6。

手動運転

連続・多め・標準・少なめの4段階で沸き上げ湯量を選べます。

湯量設定表示	こんなときに	沸き上げ方法
連続	**お湯が多量に必要なとき** 最大の能力で沸かして、湯切れを防止します。ただし、電気代は高めになります。	常に沸き上げ
多め	**常に同じ量のお湯を沸かしたいとき** 「標準」「少なめ」ではお湯の使用量が多いと湯切れすることがあります。湯切れが続く場合は「多め」に変更してください。	湯が少ないと昼間も沸き上げ
標準		夜間のみ沸き上げ
少なめ		



※深夜電力通電制御型契約の場合、「標準」「少なめ」のみ。

〈2つの昼間沸き増し機能〉

①湯切れ沸き増し

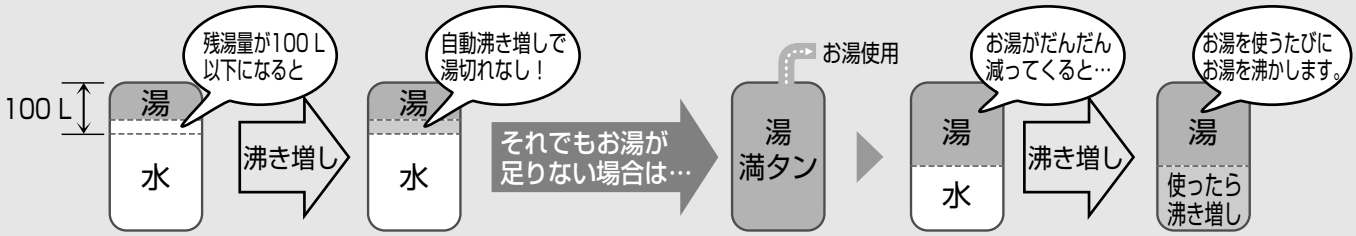
残湯量が設定以下になれば、自動的に湯切れ沸き増しします。

- ふろ自動運転中はタンクにお湯があっても、ふろのお湯を保温するために沸き増しをすることがあります。
- 残湯量設定は変更することができます。（次ページ参照）

②使ったら沸き増し

昼間時間帯にお湯を使うたびに自動的にお湯を沸かします。

（例：残湯量設定が100 Lの場合）



●電力契約の種類により、「昼間時間帯」の時間が異なります。詳しくは2ページをご覧ください。

●「深夜電力通電制御型」でご契約の場合
【おまかせ運転】…湯量レベルが1～6段階となり、昼間沸き増し機能はありません。
【手動運転】　…「標準」と「少なめ」の2設定となり、昼間沸き増し機能はありません。

沸き上げ設定を変更したいとき

おまかせ運転の設定

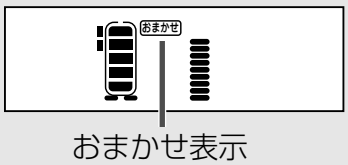
工場出荷時は「おまかせ」に設定しています。
手動になっている場合は、以下の操作をしてください。

<台所リモコン>

1 おまかせ を押す

「おまかせが設定されました」

● おまかせ表示点灯。



■手動にしたいとき

再度 おまかせ を押す

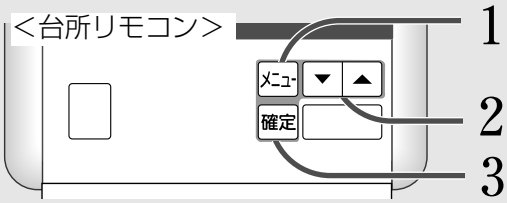
「おまかせが取り消されました」

● おまかせ表示消灯。
● 設定湯量表示は前回の設定に戻ります。ただし、前回の設定が「連続」の場合、「標準」となります。

手動運転の設定

「おまかせ」になっているときは おまかせ を押して取り消してください。

<台所リモコン>



1 メニュー を2回押す

「沸き上げ湯量が変更できます」

2 ▼ ▲ を押す

● 「少なめ」～「連続」のいずれかに合わせてください。

3 確定 を押す

「設定されました」

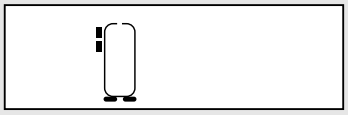
残湯量を変更したいとき

沸き上げ設定で、「おまかせ」または「多め」に設定されているときの湯切れ沸き増しを開始するタンクのお湯の量を設定できます。「深夜電力通電制御型」でご契約の場合は、設定できません。

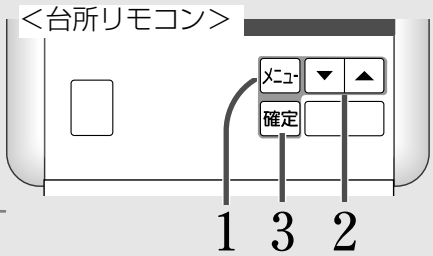
1 台所リモコンの場合

メニュー を3回押す

「残湯量設定が変更できます」

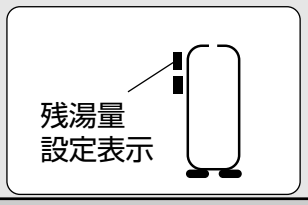


<台所リモコン>



2 ▼ ▲ を押す

● 押すごとに （1つ表示）または （2つ表示）に切り換わります。
● ふろ自動運転、追いだきを行う場合は に設定してください。
● に設定すると、ふろ自動運転、追いだきができなくなる場合があります。



3 確定 を押す

「設定されました」

残湯量設定表示	タンク容量370 L 残湯量	タンク容量460 L 残湯量	沸き増し開始の表示	お知らせ
	50 L			電気代は経済的ですが、湯切れすることがあります。
	100 L	125 L		ふろ自動運転や追いだきをするとき。工場出荷時、残湯量設定表示は （2つ表示）に設定されています。

点検とお手入れ

日常のお手入れ

リモコン

乾いた布または水をつけた布をかたく絞り、軽くふきとってください。

- ベンジン、シンナー、洗剤などは使わないでください。
- リモコン内部には電気部品が入っているので、水が入らないようにしてください。
- リモコンには水や汚水をかけないでください。

本　体

乾いた布でふくか、中性洗剤をうすめて布に含ませてふいてください。

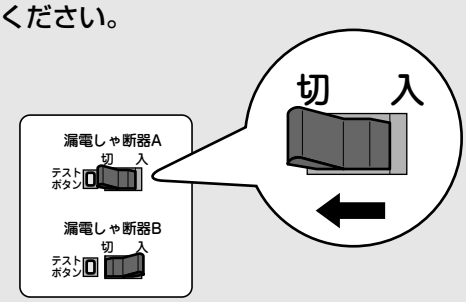
- ベンジン、シンナーなどの溶剤を使わないでください。

1か月に1回のお手入れ

タンクの湯あかなどの掃除

残湯量が少ないときに行ってください。

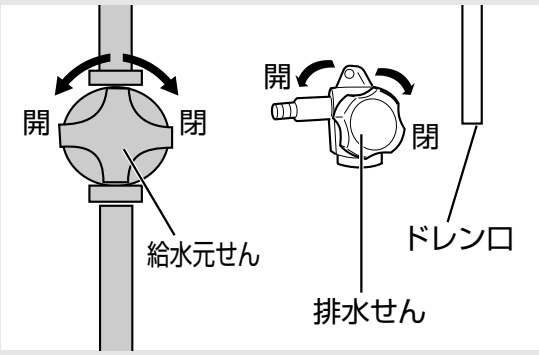
1 漏電しゃ断器操作ふたを開け、
漏電しゃ断器A（上側）を「切」にする



（漏電しゃ断器）

2 （本体下部～給水配管）　（本体上部）
給水元せんを閉め、逃し弁レバーを上げる
（☞45ページ「逃し弁の点検」）

3 （本体下部）
排水せんを開けて約2分間排水する
※お湯が出てくる場合があります。やけどにご注意ください。



4 **排水後は、排水せんを閉め、給水元せんを開ける**

5 **ドレン口よりお湯が出たら逃し弁レバーを下げる**

6 給湯せん（赤）を開き、水（お湯）が出ることを確認後
漏電しゃ断器A（上側）を「入」にし、本体の操作ふたを閉める

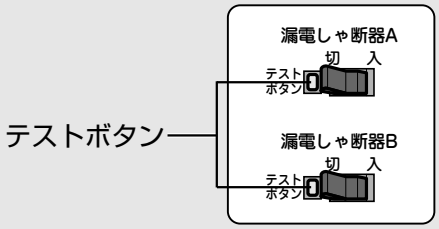
漏電しゃ断器の作動確認

「深夜電力通電制御型」でご契約の場合は、23:00～7:00の間に行ってください。

1 漏電しゃ断器操作ふたを開け、
テストボタン（2か所）を押す

2 **漏電しゃ断器A,B（2か所）が「切」になることを確認する**

3 **漏電しゃ断器A,B（2か所）を「入」にし、操作ふたを閉める**



（漏電しゃ断器）

- 約30分以上、漏電しゃ断器を「切」にしますと、リモコンの時刻表示が”0 00”で点滅します。（☞47ページ「停電したとき」）

逃し弁の点検

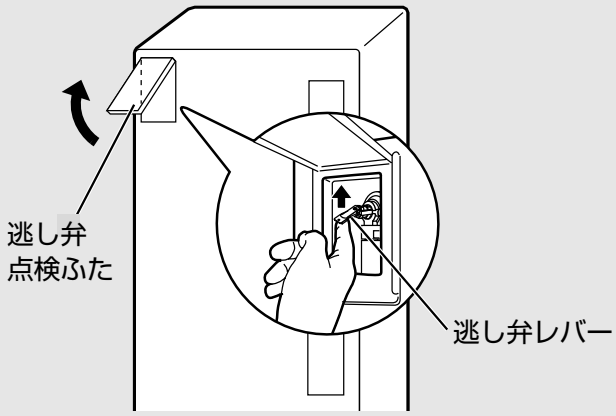
作動点検

1 前板の逃し弁点検ふたを開け、
逃し弁レバーを上げる

2 ドレン口または排水配管から
お湯（水）が出ることを確認する
- お湯が出ますので、やけどに注意してください。

3 逃し弁レバーを下げ、お湯が止まること確認する

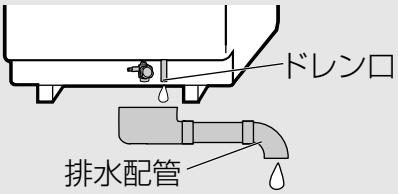
4 逃し弁点検ふたを閉める



水漏れ点検

1 台所リモコンに「沸上中」と表示していないことを確認する

2 ドレン口または排水配管から
お湯（水）が出ていないかを確認する



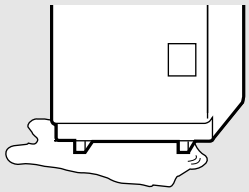
▶ ドレン口または排水配管からお湯（水）が出ている場合は…
逃し弁レバーを数回上下に動かし、ドレン口または排水配管からお湯（水）が止まるかを確認してください。
※ 上記を行ってもドレン口または排水配管からお湯（水）が出続けている場合は、販売店にご連絡ください。

沸き上げ中は、水からお湯になるときの膨張水が、ドレン口または排水配管より排出されますが、故障ではありません。

本体の水漏れ点検

1 電気温水器を設置した床面に
水が漏れていないか確認する

※ 特に集合住宅では漏水が階下へ被害をあたえます。



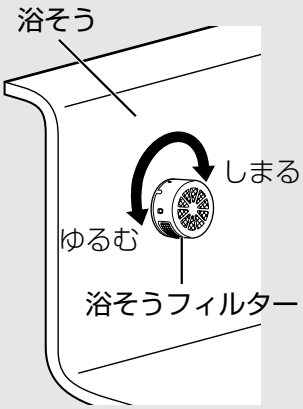
浴そうフィルターの掃除

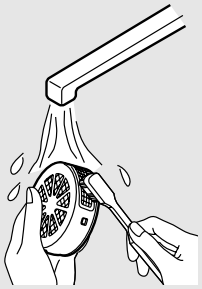
1 浴そうフィルターをはずす

2 歯ブラシなどで水洗いする

3 浴そうフィルターを元の位置に
取り付ける

※ 浴そうフィルターがゆるんだ状態または
はずれた状態で使用しないでください。



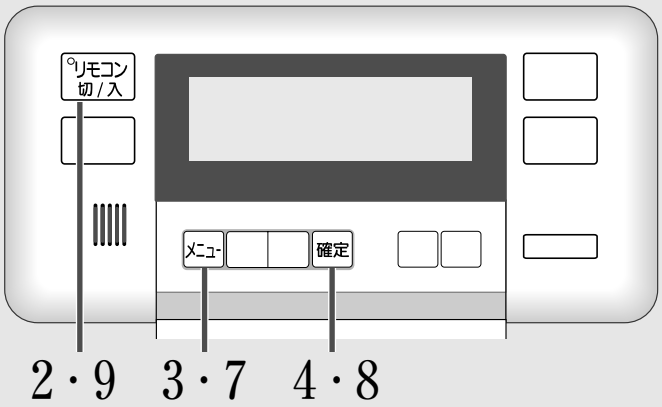


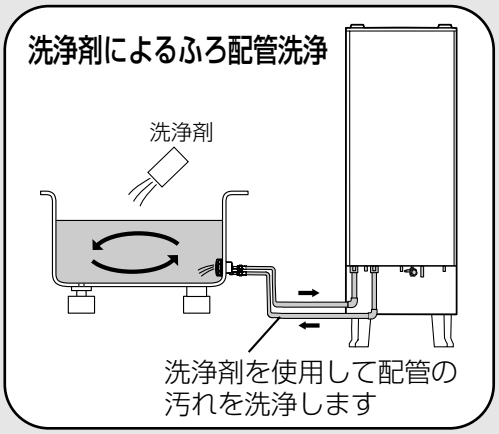
点検とお手入れ

洗浄剤によるふろ配管の洗浄（6か月に1回）

次の手順で洗浄剤を使って、浴そうの追いだきを行う配管の洗浄を行ってください。

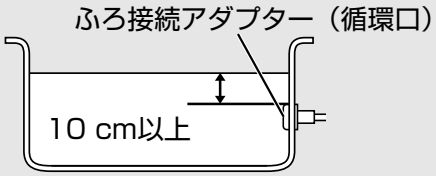
<浴室リモコン>





1 浴そうのお湯がふろ接続アダプターより10 cm以上あることを確認し、洗浄剤を入れる

洗浄剤については（☞47ページ「お知らせ」）



2 浴室リモコンの リモコン 切/入 を押す

● リモコン切/入ランプ点灯。

3 メニュー を5回押す

「洗浄運転の操作ができます、確定スイッチを押してください」

4 確定 を押す

● 洗浄中表示点灯。
● 自動でふろ配管の洗浄が開始。

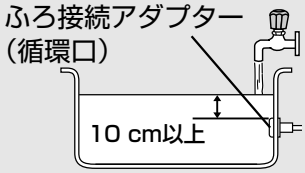
「洗浄運転をします」

約20分で自動的に終了します。

5 浴そうの水を排水し、浴そうにせんをする

6 混合水せんの給水せん（青）を開き、浴そうに水を入れる

● ふろ接続アダプター（循環口）の10 cm以上、上まで水を入れる。



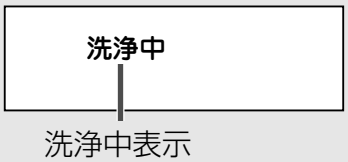
7 メニュー を5回押す

「洗浄運転の操作ができます、確定スイッチを押してください」

8 確定 を押す

「洗浄運転をします」

- 洗浄中表示点灯。
- 自動でふろ配管のすすぎが始まります。



9 約15分後、リモコン切/入 を押す

- 洗浄中表示消灯。
- すすぎを終了します。

10 浴そうの水を排水し、浴そうおよび浴そうフィルターを掃除する （☞45ページ）

停電したときは

- 約30分以上停電したときは、リモコンの時刻表示が“0 00”で点滅します。台所リモコンまたは浴室リモコンの 確定 を押してください。

➡ 確定 を押すと、現在時刻の表示にもどります。

ふろ自動運転中の場合

- 停電が約30分以上続くとふろ自動運転が中止されることがあります。

➡ ふろ自動 を押して、再度ふろ自動運転を行ってください。

沸き上げ中の場合

- 停電復帰後、沸き上げを再開します。（停電が長時間の場合は、設定湯量まで沸き上がらないことがあります。）

断水したときは

- 断水が回復してから、お湯を使うとタンク内に汚れが入るおそれがあります。
  給水せん（青）をあけて、水を十分出して、汚れがなくなってからご使用ください。

お願い
- 汚れがひどい場合は、繰り返し行ってください。

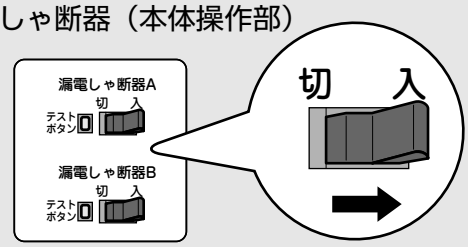
お知らせ
- ご使用になれる洗浄剤
  - ・フロ釜洗い「ジャバ」1つ穴用もしくは循環回路洗浄剤をご使用ください。
  - ・フロ釜洗い「ジャバ」1つ穴用は最寄りのスーパー、ホームセンター等でお買い求めください。取り扱いについては「ジャバ」の取扱説明書に従ってください。
  - ・循環回路洗浄剤（品番　AD-3755-2A）のお求めは、お買い上げの販売店にご相談ください。

点検とお手入れ

凍結のおそれがあるときは

1 水抜きをせずに、漏電しゃ断器A、B（2か所）を「入」のままにしておく

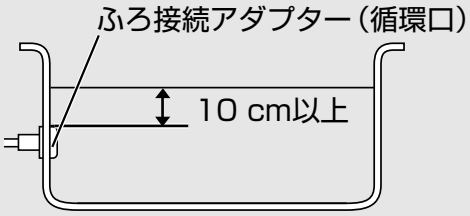
漏電しゃ断器（本体操作部）



2 浴そうに水をはる

●水をふろ接続アダプター（循環口）の上から
10 cm以上はった状態にしておいてください。

外気温度が約3 ℃以下になると、凍結予防のため、自動的にふろポンプが作動し、ふろ配管に水を循環させます。
（ふろ自動運転の「入」「切」に関係なく作動します）



漏電しゃ断器を「切」にしておくときは

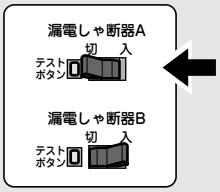
次項の「長期間使用しないときは（1か月以上使わないとき）」にしたがって、電気温水器の水抜き、ふろ循環配管の水抜きを行ってください。凍結による故障は保証の対象外です。
※比較的短期間の旅行などで使用しないときは、漏電しゃ断器を「入」にしておいてください。

長期間使用しないときは（1か月以上使わないとき）

電気温水器の水抜き、ふろ循環配管の水抜きの順で行ってください。

電気温水器の水抜き

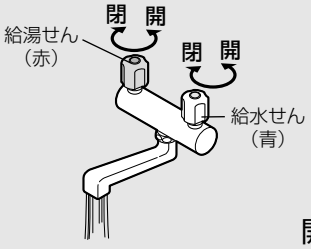
漏電しゃ断器（本体操作部）



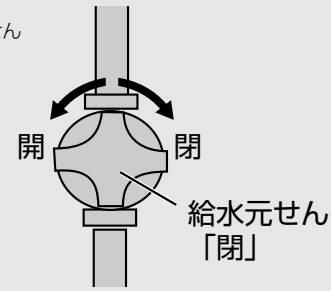
1 漏電しゃ断器A（上側）を「切」をにする

- 漏電しゃ断器B（下側）は「切」にしないでください。

2 混合水せんの給湯せん（赤）・給水せん（青）を開き、水と混合しながら熱いお湯がなくなるまで給湯する



（本体下部）

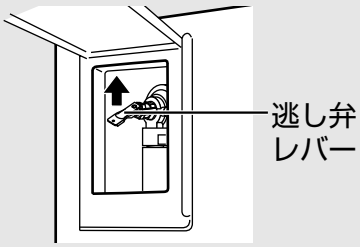


3 給水せん（青）・給水元せんを閉じる

- 給湯せん（赤）は開けておく

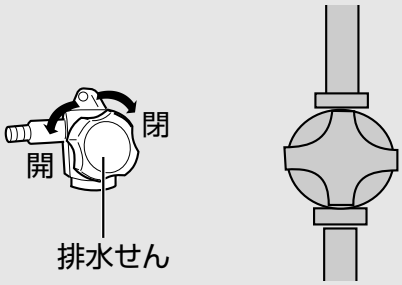
4 逃し弁レバーを上げる

（本体上部）



5 排水せんを開ける

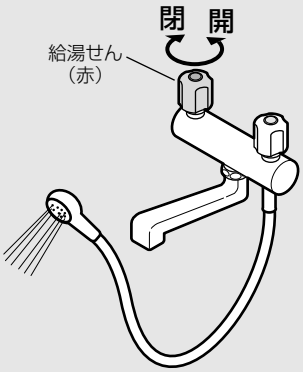
（本体下部）



6 浴室の床にシャワーヘッドを置き、シャワーの給湯せんを開ける

7 排水終了後、
混合水せんの給湯せん（赤）・排水せん・シャワーの給湯せんを閉じる

- シャワーヘッドを元の位置に戻す。



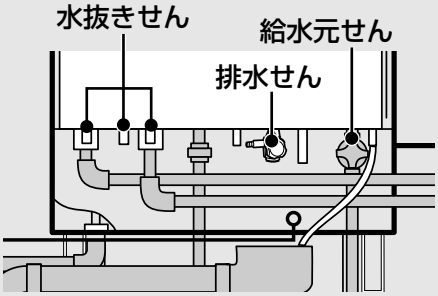
続けて、ふろ循環配管の水抜きを行ってください。

点検とお手入れ

ふろ循環配管の水抜き

1 給水元せんを閉じ、浴そうのせんを抜き、浴そうを空にする

2 水抜きせん（3か所）を開ける



〈コード接続式リモコンの場合〉

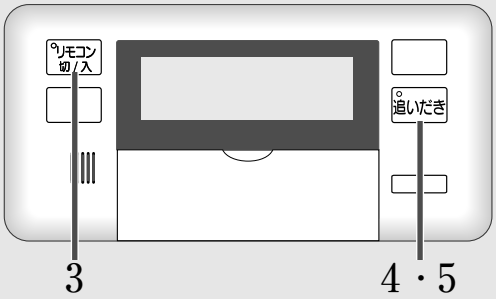
3 浴室リモコンの［リモコン 切/入］を押し、「切」にする

4 ［追いだき］を3秒間押す

- 追いだきランプ点滅。

5 水抜きせんから水が出なくなったら
再度［追いだき］を押す

- 追いだきランプ消灯。



〈コードレスリモコンの場合〉

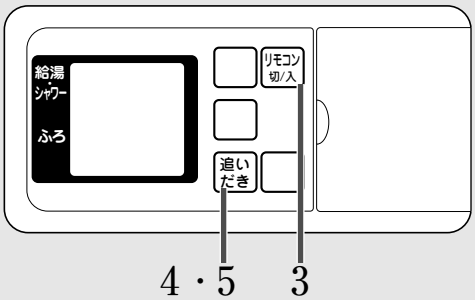
3 浴室リモコンの［リモコン 切/入］を押し、「切」にする

4 ［追いだき］を3秒間押す

- 表示が「ー ー」となる。

5 水抜きせんから水が出なくなったら
再度［追いだき］を押す

- 表示の「ー ー」が消える。

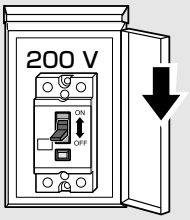


6 水抜きせん（3か所）を閉める

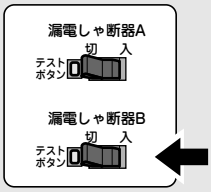
7 ブレーカー、漏電しゃ断器B（下側）を「切」にする

8 逃し弁レバーを下げる

配線用しゃ断器（ブレーカー）



漏電しゃ断器（本体操作部）



定期点検が必要です

電気温水器を長期間にわたり、安全で快適にご使用いただくためには3年に1回程度、専門技術者による定期点検整備を行ってください。
設置条件、使用条件・特殊環境によっては劣化しやすい消耗部品があり、そのままにしておくと水漏れの原因となります。
また、給水器具（逆流防止装置）などの点検は、3年に1回程度必要です。そのままにしておくとお湯が逆流し、他の配管に流れる原因となります。〔(社）日本水道協会発行の「給水用具の維持管理指針」に基づく〕
お買い求めの販売店または工事店にご相談願います。
長期間（10年程度）使用されている場合は、毎年「定期点検」をお受けください。ただし補修用性能部品を保有していますが、長期に使用されている場合、部品によってはご用意できない場合がありますので、ご容赦願います。

■ 定期点検整備契約の実施について

- **お申込み先** ――お買い上げの販売店
- **点検整備内容** ――安全性の点検整備･システム機能の点検整備（配管など）･消耗･劣化しやすい部品の交換
- **定期点検費用** ――定期点検整備は、お客様のご負担によって実施します。

■ 定期点検整備の主な内容

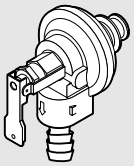
項　目	点検整備の内容
据付状態の点検	● 配管接続部の水漏れ確認　● 電気絶縁チェック
	● 配管保温材の確認　● 設置面の確認
機能部品の点検	● 逃し弁の水漏れ確認　● 循環ポンプの点検　● 水道用減圧弁の点検
	● 給水しゃ断弁の点検　● 逆流防止装置の動作確認
	● 電気部品（配線、導通）動作の確認
清掃・整備	● タンク下部のスケール沈殿物の排出　● 減圧弁、ストレーナー（フィルター）の清掃
	● 機能部品の清掃

消耗部品について

水道用減圧弁、逃し弁は消耗部品です。使用水質によっては、3年程度で消耗・劣化しやすい部品があります。
点検の結果、部品交換が必要なものは交換します。交換に要する費用は、お客さまにご負担いただきます。
（☞62ページ）

逃し弁　**配管部品**

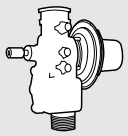
使用水質によっては、弁摺動部にスケールが付着したり、弁座シート部が磨耗して水漏れの原因になりますので交換が必要です。



逃し弁

水道用減圧弁　**配管部品**

使用水質によっては、減圧弁のダイヤフラム（ゴム製）や弁摺動部にスケールが付着したり、弁座シート部が磨耗して水漏れの原因になりますので交換が必要です。



水道用減圧弁

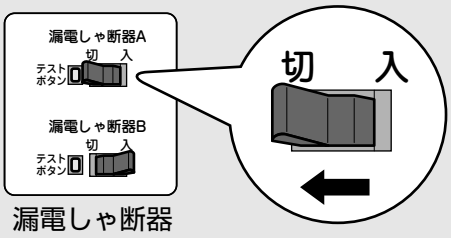
断水時に生活用水として使う

地震などの災害時や断水時に市販の水道用ホースを使って、タンク内の水を生活用水としてお使いください。
ただし、飲用はおさけください。

生活用水の使いかた

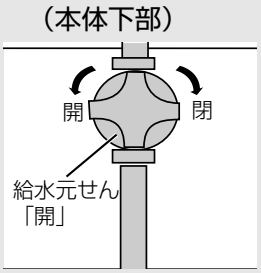
1 本体の漏電しゃ断器A（上側）を「切」にする

● 熱湯が出る場合、やけどに注意してください。

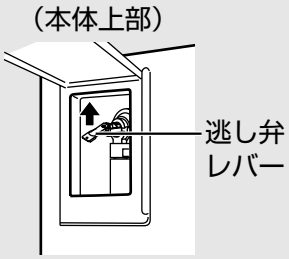


2 給水元せんを閉じる

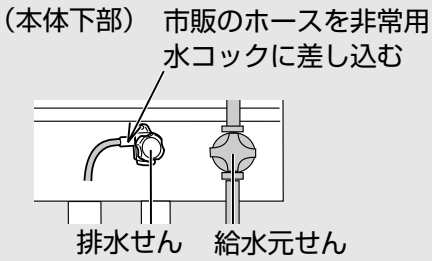
● 給水配管と本体の間にあります。



3 逃し弁レバーを上げる



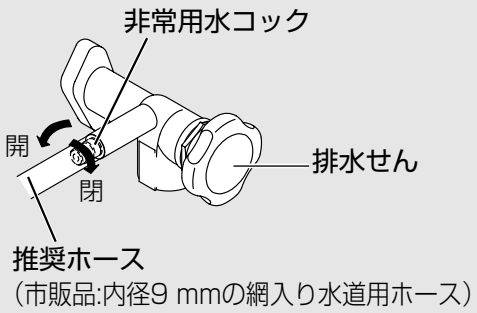
4 市販のホースを非常用水コックに差し込む



5 ホースを持って非常用水コックを左に回し、お湯または水を出す

● 熱湯が出る場合、やけどに注意してください。

6 使用後は、ホースを持って非常用水コックを右に回し、お湯または水をとめる



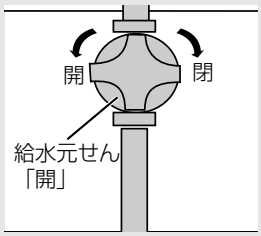
7 逃し弁レバーを下げる

電気温水器を再使用するとき

1 給水元せんを開く

● 給水配管と本体の間にあります。

（本体下部）



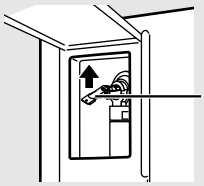
2 排水せんを閉じる

● 右に回しきると「閉」になります。

3 逃し弁レバーを上げる

● タンクを満水にします。
● ドレン口または排水配管から水が出始めたら、タンクは満水です。
● 満水にしないと、電気温水器の運転が停止します。

（本体上部）



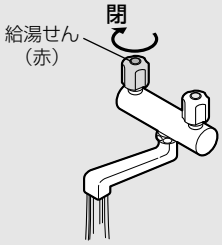
4 満水になったら 逃し弁レバーを下げる

● 逃し弁点検のふたを閉じてください。

5 混合水せんのお湯側を開く

● 混合水せんから水が出ることを確認してください。

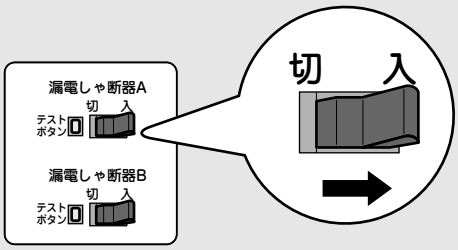
6 混合水せんのお湯側を閉じる



7 本体の漏電しゃ断器A（上側）を「入」にする

● 漏電しゃ断器のふたを閉じてください。

漏電しゃ断器（本体操作部）



8 現在時刻を合わせる

（☞ 19ページ）

お知らせ ● タンクが満水でないと、電気温水器の運転が停止します。

据付工事後の確認

次のチェック表にもとづき販売店（工事店）と共に点検をしてください。（地域や設置場所により工事の内容が若干標準配管例と異なることがあります）
なお、この表は後日、メンテナンスのときに必要となりますので保管しておいてください。

	点　検　項　目	チェック
安全項目	本体脚部は、アンカーボルトで固定してしますか。	
	床に防水処理、および漏水時の排水処理をしていますか。	
	漏電しゃ断器A、B（2か所）は、テストボタンで「切」になりますか。	
	アース（接地）工事をしていますか。	
	本体上部は強度のある壁に固定していますか。（当社部材を使用したとき）	
	近くにガス類容器や引火物を置いていませんか。	
本体まわり	コンクリート基礎台を設けていますか。	
	工事説明書どおりに点検スペース（前方80 cm、上方25 cm以上）を確保していますか。	
	本体まわりの給水接続部に給水元せんが取り付けてありますか。	
配管まわり	専用の給水元せんが取り付けられていますか。	
	金属配管の場合、給水・給湯配管・ふろ配管に絶縁パイプを使用していますか。	
	給水・給湯配管・ふろ配管の水漏れはないですか。	
	給水・給湯配管・ふろ配管に保温工事を施していますか。	
	凍結地域では、凍結予防工事を施していますか。	
	部品をはずしやすいようにユニオン継手を使用していますか。	
	排水せん・ドレン口から排水溝へ配管していますか。	
	減圧弁のストレーナー（フィルター）は掃除されていますか。	
	排水配管・ドレン口と排水溝の間隔は5 cm以上離していますか。	
	本体排水時、排水溝より水があふれていませんか。	
	試運転終了後お客様へ引き渡すまでの間、電源を「切」にする場合は、水抜きを行っていますか。（冬期工事時）	
	混合水せんのシャワー流量は十分か確認しましたか。	

移設するときは…

●増改築・引越しなどで、機器を移設したり、再据付する場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

配管部材の修理…

●電気温水器（本体に当初から内蔵された部材を含む）の本体以外の配管部材にかかわる修理は販売店（工事店）に連絡してください。

お湯はりの試運転をする

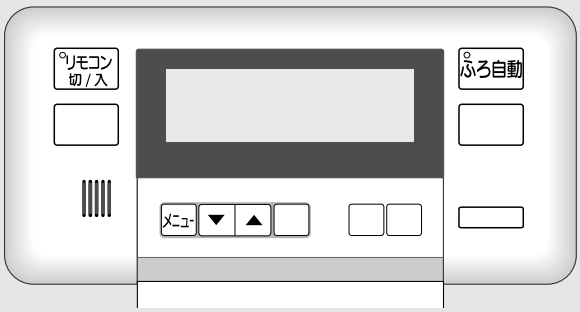
試運転とは、おふろにお湯をはるときの基準の水位を設定します。

● お使いになる前に必ず試運転を行ってください。

1 浴そうを空の状態にして、浴そうせんをする

2 浴室リモコンの リモコン 切/入 を押して、「入」/「切」を確認したのち、「切」にする

<浴室リモコン>



3 浴室リモコンの ▼ を押しながら、リモコン 切/入 を押し、約3秒間「ピピー」と鳴るまで押し続ける

● ふろ自動ランプ点灯。
● リモコンの時計表示部に「PIL」を表示し、試運転を開始します。

▶ PIL

4 リモコンの時計表示部に「End」の表示が出るまで放置する

● 25分以上かかります。（浴そうの大きさ、形状によって変わります）
● 試運転完了は沸き上げ完了でお知らせします。
● タンク内の湯温が低いと「End」表示後、追いだきランプ点滅。

▶ End

「おふろが沸きました」

5 浴そうの湯量を確認する

● 湯量（水位）のめやすはふろ接続アダプター（循環口）より5～20 cmです。（上記のめやすは、浴そうの大きさ、形状によって変わります。浴そうが大きいと湯量（水位）が低くなります）
● ふろ湯量（水位）の設定表示部は1～5のいずれかの目盛を表示します。
● 水位は約2.5 cmきざみで、15段階の水位設定ができます。

浴そうの大きさに合わせてふろ湯量の設定をしてください。

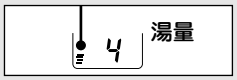
〈設定のしかた〉

① リモコン 切/入 を「入」にする

② メニュー を3回押す

「ふろ湯量が変更できます」

湯量設定表示部



▼または▲を押すごとに切り換わります。
リモコンの表示は下図のようになります。

1 ～ 10 ～ 15

（10以上は数値のみ変わります）
（10→11は▲を3秒間押してください）

6 リモコン 切/入 を押す

● 「End」消灯。

7 浴そうのせんを抜き、排水する

お願い ● 試運転時は混合水せんから浴そうへのお湯はりはしないでください。（水位が狂います）

故障かな？

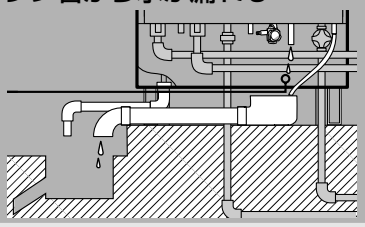
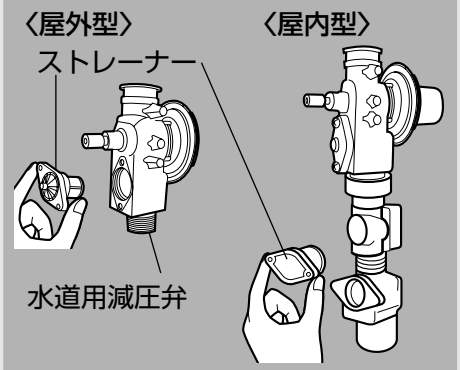
こんなときは	故障ではありません
深夜通電時間になっても電気温水器のヒーターが入らない	200 Vが通電されていても通電制御型の電気温水器は、水温によってはすぐにヒーターに通電されないときがあります。翌朝沸き上がっていれば正常です。
夜間通電時間になっても電気温水器のヒーターが入らない	朝沸き上がるように水温や残湯量によって通電開始時間を調整するためです。
夜間通電時間帯の通電終了時間よりも早く沸き上がる	昼間の残湯があるときは、通電終了時間よりも早く沸き上がります。
湯切れした	沸き上げ湯量を おまかせ に設定するか、「少なめ」「標準」の設定の場合、「多め」または「連続」に切り換えてください。（☞ 43ページ）
	残湯量の設定が1つ表示（50 L）の場合、2つ表示（370 Lタイプ：100 L、460 Lタイプ：125 L）にしてください。（☞ 43ページ）
	来客の多い日やお湯が多量に必要なときは「連続」の設定にしてください。（☞ 43ページ）
	深夜電力通電制御型の場合、その日の給湯はできません。（昼間沸き上げできないため）
湯温が少し変化する	以下のときにお湯を出すと、若干湯温が変化することがあります。 ● ふろと給湯を同時に出湯したとき。 ● お湯をくり返し使用したとき ● 2か所以上でお湯を使用したとき
電気温水器から音がする	沸き上げ中やふろ自動運転では、ポンプが作動し、音がしますが異常ではありません。
お湯が出ない	給水元せんが閉まっていませんか？給水元せんを開けてください。
	断水していないか確認し、断水が回復したら、断水後の処置をする。（☞ 47ページ）
	● 長期間の断水のときは下記の処置をしてください。 1.本体操作部の漏電しゃ断器A、B（2か所）を「切」にする。 2.給水元せんを閉める。 ● 再びご使用になるときは、漏電しゃ断器B（下側）を「入」にし、給水元せんを開け、混合水せんからお湯または水が出ることを確認して、漏電しゃ断器A（上側）を「入」にしてください。
沸き上げ中にドレン口または排水配管から水が漏れる	リモコンの「沸上中」表示が点灯中、タンク内の水が膨張し、逃し弁が作動してドレン口または排水配管から徐々に水またはお湯が出ますが、故障ではありません。
お湯から油が出る、お湯が臭い	初めて使用するときは、配管工事のときの油やにおいがお湯に混ざって出る場合がありますが、しばらくすると消えます。

こんなときは	故障ではありません
浴そうに青い汚れがついたり、タオルが青くなる	●水中に含まれているわずかな銅イオンとせっけんなどに含まれる脂肪酸とが反応しておこるもので、人体に害はありません。 ●汚れを放置しますと取れにくくなりますので通常の浴室用洗剤で、こまめに掃除してください。 ●汚れが取れにくいときは油汚れ専用洗剤をお使いください。 （☞ 18ページ）
追いだきランプが点滅している	タンク内のお湯が少ないため、追いだきはできません。沸き上げ湯量の設定を おまかせ にし、残湯量設定を2つ表示（370 Lタイプ：100 L、460 Lタイプ：125 L）にしてください。 （☞ 43ページ）
リモコンが表示していない	表示の自動消灯の設定になっているためです。 表示の自動消灯をしない場合は、取り消してしてください。 （☞ 23、26ページ）
	浴室リモコンの切/入スイッチが「切」になっているためです。 浴室リモコンの切/入スイッチを「入」にしてください。 （☞ 20ページ）
お湯はり完了の少し前に「もう少しでおふろが沸きます」と音声によるお知らせがない	ふろ接続アダプター（循環口）の取り付け位置が低いときや、浴そうに残湯がある場合は、「もう少しでおふろが沸きます」と音声でお知らせしません。
リモコンの時刻表示が、“0 00”で点滅している	約30分以上停電したことを表示しています。台所リモコンの 確定 を押してください。押した後、現在時刻にもどります。（☞ 47ページ） ブザーが鳴っているときは現在時刻を設定してください。 （☞ 19ページ）
寒い時、循環ポンプが動く音がする	凍結予防のため、ポンプが自動的に作動し、おふろのお湯を循環させているためです。異常ではありません。浴そうに水をはってください。（循環口の上10 cm程度）（☞ 48ページ）
お湯はりするとお湯があふれる	ふろ接続アダプター（循環口）の位置が高い場合や浴そうに残り湯があるときは、浴そうからお湯があふれることがあります。
追いだきが短時間でとまる	浴そうフィルターが目詰まりしている。掃除してください。 （☞ 45ページ）
お湯はりの途中で音がする	ポンプが空気を吸い込む音です。異常ではありません。お湯はりが完了すると音はしなくなります。

● 上記の処置をしても直らない場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。

故障かな！？

こんなときは販売店にご連絡ください。

こんなときは	処　置　方　法
「沸上中」が消灯中にドレン口・ドレン管から水が漏れる 	運転中以外（リモコンの「沸上中」が消えているとき）に排水口に水が漏れているときは、逃し弁の故障です。 逃し弁が故障したまま使用されますと、沸き上がったお湯が逃し弁より漏れて、湯量不足がおこったり、湯温が低くなったり、水道代・電気代が平常月より高くなることがあります。 逃し弁レバーを数回上下に動かし、レバーを下げたときに排水管からお湯（水）が止まるか確認してください。 ※上記操作を行っても排水管からお湯（水）が出続けている場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。
湯の出が悪くなったとき 	ストレーナーにごみなどがつまっていることがあります。 **販売店の方が行ってください。** ●掃除の方法 やけど防止のため次の手順で行ってください。 1. 漏電しゃ断器を「切」にした後、「長期間使用しないときは」（☞ 49ページ）の項に従って排水する。 2. 排水後、ストレーナーのふたをはずし、あみを掃除する。 3. ストレーナーのふたを閉め、「はじめてお使いになるとき」（☞ 14ページ）の項に従って再びご使用ください。
漏水報知が鳴ったとき（屋内型のみ）	「ピーピー」とブザーが鳴り、台所リモコン、浴室リモコンに「F17」が表示されたときは、水漏れなどの異常があります。 下記処置を行った後、すみやかに販売店にご連絡ください。 1.給水元せんを閉じる。 2.ブレーカーと漏電しゃ断器を「切」にする。 （漏水報知のブザー音が鳴りやみます。）
その他	● 台所リモコン、浴室リモコンの時刻表示部に右記以外の「異常表示」が出たとき ●漏電しゃ断器が自動的に「切」になるとき ●水漏れがあるとき 給水元せんを閉めてから、販売店にご連絡ください。

異常表示について

対処してください

リモコンの時刻表示部に次のように表示された場合は、お客さまが対処できる異常表示です。それぞれの方法で対処してください。

異常表示	内　　容	処　置　方　法
U22	湯はり中に断水した	①断水が復帰したことを確認する ②浴室リモコンの切/入スイッチを押し、「入」にする
U51	お湯はり時の浴そうせんの閉め忘れ	①浴室リモコンの切/入スイッチを押し、「入」にする ②浴そうのせんをする ③ふろ自動スイッチを押し、ふろ自動運転する
U53	満水であふれる	①浴室リモコンの切/入スイッチを押し、「入」にする ②ふろ湯量の設定水位を下げて適量水位に設定しなおす ③ふろ自動スイッチを押し、ふろ自動運転する
U54	おふろの基準水位が設定されていない	①浴そうを空にして、せんをする ②浴室リモコンの切/入スイッチを押し、「入」にする ③ふろ自動スイッチを押し、ふろ自動運転する
U61	タンク内のお湯切れで、お湯はり時の湯温が低い	①浴室リモコンの切/入スイッチを押し、「入」にする ②沸き上げ湯量を おまかせ に設定するか、「少なめ」「標準」の設定の場合、「多め」または「連続」に切り替えてください。 （☞ 43ページ） ③残湯量の設定が1つ表示（50 L）の場合、2つ表示（370 Lタイプ：100 L、460 Lタイプ：125 L）にしてください。 （☞ 43ページ） ④残湯量が ▯ 以上になるまで待つ ⑤ふろ自動スイッチを押し、ふろ自動運転する
H26	タンクの圧力が異常に高い	①給水元せんを閉じる ②混合水せんの給湯つまみ（赤）を開ける ③ブレーカー、本体の漏電しゃ断器A、B（2か所）を「切」にする
H96	タンクに水がない	①逃し弁レバーを上げて排水口から水が出ることを確認する ②漏電しゃ断器Aを「切」にして、約3秒後「入」にする

販売店に連絡してください

●リモコンの時刻表示部に上記以外の表示が出た場合または上記の処置をしても直らない場合は異常です。
給水元せんを閉じ、配線用しゃ断器、漏電しゃ断器を「切」にし、すみやかにお買い上げの販売店にご連絡ください。

●冬期凍結のおそれがある時期に異常表示が出たときは、配線用しゃ断器、漏電しゃ断器および配管の凍結予防ヒーター（市販品）の通電を「切」にすると、配管が凍結して故障が拡大する場合がありますので、すみやかにお買い上げの販売店にご連絡ください。

事業者様へのご案内

『労働安全衛生法施行令（労安法）令』改正について

1998年12月、『労働安全衛生法施行令』（以下労安法）が改正され、電気温水器のタンク内圧が従来の『100 kPa以下』から『200 kPa以下』へと緩和され、高圧力型電気温水器の製造販売が認可されました。

労安法の規定において、従来の電気温水器は、『簡易ボイラー』に区分されますが、高圧力型電気温水器は『小型ボイラー』に区分されます。

- 簡易ボイラー：労安法適用外、事務所・一般家庭に設置できます。
  設置する際には、労働基準監督署への設置届け不要・定期点検の義務もありません。
- 小型ボイラー：今回の改正の対象は、伝熱面積2 m²（40 kW）以下・水頭圧100 kPaを超え200 kPa以下の給湯器です。労安法が適用になり、一般家庭用に設置する場合は、簡易ボイラー同様設置届け・定期点検の義務はありません。ただし、事業所に設置する際には、労働基準監督署への設置届けが必要になり、定期自主検査も必要になります。
  ※事業所とは広く家庭用以外の用途で使用される場所をさします。ただし、同居の親族のみが使用する事業所は適用から外れます。

安全にお使いいただくために、必ずお読みになってから次の4つの項目を実施してください。なお、届出は事業主様が行うことになっています。

設置報告

事業主様が高圧力型電気温水器を設置する時は、所轄労働基準監督署長に設置報告書を提出することが義務づけられています。

定期自主検査

事業主様が高圧力型電気温水器の取扱いの業務に労働者をつかせるときは安全のために定期自主検査を実施することが義務づけられています。

特別教育

事業主様が高圧力型電気温水器の取扱いの業務に労働者をつかせるときは安全のため特別教育を実施することが義務づけられています。

事故報告

高圧力型電気温水器の事故などが発生したとき、事業主様は事故報告書を所轄労働基準監督署長に提出することが義務づけられています。

事業所設置の際の規定事項

設置報告　適用法令→ボイラー及び圧力容器安全規則第91条

小型温水ボイラーを設置したときは、設置場所付近の状況や当該ボイラーが構造規格に適合しているかを確認する必要があるので事業者は、小型ボイラー設置報告書に構造図※1及び小型ボイラー明細書※1ならびに小型ボイラーの設置場所の周囲の状況を示す図面※2を添えて、所轄労働基準監督署長に提出してください。

小型ボイラーを同一事業所内で移転した場合には、新たな「設置」があったものとみなされ、小型ボイラー設置報告書の提出が必要になります。

※1　添付されている明細書・構造図を使用して設置届けを行ってください。

※2　事業所内での小型温水ボイラーの設置位置を記載した地図を書いてください。

定期自主検査　適用法令→ボイラー及び圧力容器安全規則第94条

事業者様は小型温水ボイラーの使用を開始した後、1年ごとに1回、定期的に次の項目について自主検査を行ってください。

本体	・製品本体からの水漏れの有無 ・逃し弁の作動状態および漏れの有無 ・漏電しゃ断器の作動状況 ・タンクの手入れ	**配管**	・損傷と漏れの有無

検査方法の詳細は、取扱説明書の44～51ページ「点検とお手入れ」を参照してください。

なお、自主検査を行った後は、検査結果を記録用紙に記入し、3年間保存してください。

特別教育　適用法令→ボイラー及び圧力容器安全規則第92条

事業者様は小型温水ボイラーの取扱い業務に労働者をつかせるときは、当該労働者に対し、安全のための特別の教育を行ってください。

特別教育の項目

1　ボイラーの構造に関する知識
2　ボイラーの付属品に関する知識
3　関係法令
4　小型ボイラーの運転および保守
5　小型ボイラーの点検

事業者様は、特別教育を行ったときは、当該特別教育の受講者、科目等の記録を作成して、これを3年間保存してください。なお特別教育の科目全部又は一部について十分な知識及び技能を有していると認められる労働者は、当該科目についての特別教育を省略することができます。添付の取扱説明書を使用して、製品の取扱説明を行ってください。

事故報告　**適用法令→労働安全衛生規則第96条**

事業者様は小型ボイラーの破裂の事故等が発生したときは遅滞なく、様式第22号による報告書を所轄労働基準監督署長に提出してください。

関係法令

（1）ボイラー及び圧力容器安全規則

設置報告

第91条　1　事業者は、小型ボイラーを設置したときは、遅滞なく、小型ボイラー設置報告書（様式第26号）に機械等検定規則第1条第1項第1号の規定による構造図及び同項第2号の規定による小型ボイラー明細書（同規則第4条の合格の印が押されているものに限る。）ならびに当該小型ボイラーの設置場所の周囲の状況を示す図面を添えて、所轄労働基準監督署長に提出しなければならない。

定期自主検査

第94条　1　事業者は、小型ボイラー又は小型圧力容器について、その使用を開始した後、1年以内ごとに1回、定期に、次の事項について自主検査を行わなければならない。ただし、1年をこえる期間使用しない小型ボイラー又は小型圧力容器の当該使用しない期間においてはこの限りではない。
（1）小型ボイラーにあっては、ボイラー本体、燃焼装置、自動制御装置及び付属品の損傷又は異常の有無
（2）小型圧力容器にあっては、本体、ふたの締付けボルト、管及び弁の損傷又は磨耗の有無

2　事業者は、前項ただし書の小型ボイラー又は小型圧力容器については、その使用を再び開始する際に、同項各号にあげる事項について自主検査を行わなければならない。

3　事業者は、前2項の自主検査を行ったときは、その結果を記録し、これを3年間保存しなければならない。

特別教育

第92条　1　事業者は、小型ボイラーの取扱いの業務に労働者をつかせるときは、当該労働者に対し、当該業務に関する安全のための特別の教育を行わなければならない。

2　前項の特別の教育は、次の科目について行うものとする。
1　ボイラーの構造に関する知識
2　ボイラーの付属品に関する知識
3　燃料及び燃焼に関する知識
4　関係法令
5　小型ボイラーの運転及び保守
6　小型ボイラーの点検

3　安衛則第37条及び第38条並びに前2項に定めるもののほか、第1項の特別の教育の実施について必要な事項は、労働大臣が定める。

（2）労働安全衛生規則

事故報告

第96条　1　事業者は、次の場合は、遅滞なく、様式第22号による報告書を所轄労働基準監督署長に提出しなければならない。
（1～2略）
3　小型ボイラー、令第1条第5号の第一種圧力容器及び同条7号の第二種圧力容器の破裂の事故が発生したとき
（以下略）

高圧力型電気温水器（小型温水ボイラー）に適用される法令として以下のものがあります。

●労働安全衛生法（昭和47年法律第57号）
●労働安全衛生法施行令（昭和47年制令第318号）
●労働安全衛生規則（昭和47年労働省令第32号）
●ボイラー及び圧力容器安全規則（昭和47年労働省令第33号）

保証とアフターサービス よくお読みください

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は…

- 修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ!
- 使いかた・お買い物などのお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ!

■保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。
よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体2年間、ヒーター3年間
ただし、"タンク" は5年間（水漏れ現象に適用）です。

■補修用性能部品の保有期間 10年

当社は、この電気温水器の補修用性能部品を、製造打ち切り後10年保有しています。
注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるとき

56～59ページの「故障かな？」に従って調べていただき、直らないときは必ず漏電しゃ断器を「切」にし、給水元せんを閉め、お買い上げの販売店へご連絡ください。

- **保証期間中は**
  保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。
- **保証期間を過ぎているときは**
  修理すれば使用できる製品については、ご要望により修理させていただきます。次の修理料金の仕組みをご参照のうえ、ご相談ください。
- **修理料金の仕組み**
  修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。
  技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
  部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。
  出張料 は、お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ご連絡いただきたい内容	
品　名	電気温水器
品　番	
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に

ご相談窓口における個人情報のお取り扱い

パナソニック株式会社およびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、折り返し電話させていただくときのため、ナンバー・ディスプレイを採用しています。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

「よくあるご質問」「メールでのお問い合わせ」などはホームページをご活用ください。
http://panasonic.jp/support/

修理に関するご相談

パナソニック 修理ご相談窓口

ナビダイヤル（全国共通番号） 0570-087-087

- 呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS・IP/光電話等、ナビダイヤルがご利用できない場合は、最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。
- 最寄りの修理ご相談窓口は、次ページをご覧ください。

使いかた・お買い物などのご相談

パナソニック お客様ご相談センター

365日／受付9時～20時

電話 フリーダイヤル 0120-878-365（パナは 365日）
■携帯電話・PHSでのご利用は… 06-6907-1187
FAX フリーダイヤル 0120-878-236

Help desk for foreign residents in Japan
Tokyo (03) 3256-5444 **Osaka** (06) 6645-8787
Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays / Sundays / national holidays)

※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

パナソニック
修理ご相談窓口

ナビダイヤル（全国共通番号） **0570-087-087**

- 呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS・IP/光電話等、ナビダイヤルがご利用できない場合は、最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。

- 地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口に転送させていただく場合がございます。

北海道地区

札幌	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7	☎(011)894-1251
旭川	旭川市2条通16丁目1166	☎(0166)22-3011
帯広	帯広市西20条北2丁目23-3	☎(0155)33-8477
函館	函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内）	☎(0138)48-6631

東北地区

青森	青森市大字浜田字豊田364	☎(017)775-0326
秋田	秋田市外旭川字小谷地3-1	☎(018)868-7008
岩手	盛岡市厨川5丁目1-43	☎(019)645-6130
宮城	仙台市宮城野区扇町7-4-18	☎(022)387-1117
山形	山形市平清水1丁目1-75	☎(023)641-8100
福島	郡山市亀田1丁目51-15	☎(024)991-9308

首都圏地区

栃木	宇都宮市上戸祭3丁目3-19	☎(028)689-2555
群馬	前橋市箱田町325-1	☎(027)254-2075
茨城	つくば市筑穂3丁目15-3	☎(029)864-8756
埼玉	桶川市赤堀2丁目4-2	☎(048)728-8960
千葉	千葉市中央区末広5丁目9-5	☎(043)208-6034
東京	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17	☎(03)5477-9780
山梨	甲府市宝1丁目4-13	☎(055)222-5822
神奈川	横浜市港南区日野5丁目3-16	☎(045)847-9720
新潟	新潟市東区東明1丁目8-14	☎(025)286-0180

中部地区

石川	金沢市横川3丁目20	☎(076)280-6608
富山	富山市根塚町1丁目1-4	☎(076)424-2549
福井	福井市問屋町2丁目14	☎(0776)21-0622
長野	松本市寿北7丁目3-11	☎(0263)86-9209
静岡	静岡市葵区千代田7丁目7-5	☎(054)287-9000
愛知	名古屋市瑞穂区塩入町8-10	☎(052)819-0225
岐阜	岐阜市中鶉4丁目42	☎(058)278-6720
高山	高山市花岡町3丁目82	☎(0577)33-0613
三重	津市久居野村町字山神421	☎(059)254-5520

近畿地区

滋賀	栗東市霊仙寺1丁目1-48	☎(077)582-5021
京都	京都市伏見区竹田中川原町71-4	☎(075)646-2123
大阪	大阪市城東区関目2丁目15-5	☎(06)6359-6225
奈良	大和郡山市筒井町800番地	☎(0743)59-2770
和歌山	和歌山市中島499-1	☎(073)475-2984
兵庫	神戸市須磨区弥栄台3丁目13-4	☎(078)796-3140

中国地区

鳥取	鳥取市安長295-1	☎(0857)26-9695
米子	米子市米原4丁目2-33	☎(0859)34-2129
松江	松江市平成町182番地14	☎(0852)23-1128
出雲	出雲市渡橋町416	☎(0853)21-3133
浜田	浜田市下府町327-93	☎(0855)22-6629
岡山	岡山市田中138-110	☎(086)242-6236
広島	広島市西区南観音1丁目13-5	☎(082)295-5011
山口	山口市小郡下郷220-1	☎(083)973-2720

四国地区

香川	高松市勅使町152-2	☎(087)868-6388
徳島	徳島市沖浜2丁目36	☎(088)624-0253
高知	高知市仲田町2-16	☎(088)834-3142
愛媛	愛媛県伊予郡砥部町八倉75-1	☎(089)905-7544

九州地区

福岡	春日市春日公園3丁目48	☎(092)593-9036
佐賀	佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044	☎(0952)26-9151
長崎	長崎市東町1919-1	☎(095)830-1658
大分	大分市萩原4丁目8-35	☎(097)556-3815
宮崎	宮崎市本郷北方字草葉2099-2	☎(0985)63-1213
熊本	熊本市健軍本町12-3	☎(096)367-6067
天草	天草市港町18-11	☎(0969)22-3125
鹿児島	鹿児島市与次郎1丁目5-33	☎(099)250-5657
大島	奄美市名瀬朝仁町11-2	☎(0997)53-5101

沖縄地区

沖縄	浦添市城間4丁目23-11	☎(098)877-1207

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

0608

仕様

項目＼品番		DH-37G3QUBA	DH-37G3QUBAM	DH-46G3QUBA	DH-46G3QUBAM
適用電力制度		時間帯別料金対応通電制御型／深夜電力通電制御型／季節別時間帯別電灯契約通電制御型			
設置場所		屋外型	屋内型	屋外型	屋内型
使用電源		単相200 V　50／60 Hz			
定格消費電力	温水器沸き上げヒーター	4.4 kW		5.4 kW	
	ふろ循環ポンプ	80 W／105 W（50/60 Hz）			
	その他	約28 W（運転停止時　台所リモコン、浴室リモコン点灯　約8 W／台所リモコン、浴室リモコン消灯　約5 W）			
	最大消費電力	4.5 kW		5.5 kW	
タンク容量		370 L		460 L	
沸き上がり温度		「標準」：約90 ℃　「少なめ」：約75 ℃　「おまかせ」：約75～約90 ℃			
発熱体		シーズヒーター			
温度制御・水温検知		負特性サーミスター			
安全装置		漏電しゃ断器　自動温度調節器　温度過昇防止器　異常過圧防止器			
質量（　）内は満水時		72 kg（442 kg）	73 kg（443 kg）	81 kg（541 kg）	82 kg（542 kg）
自動お湯はり		ふろ水位設定：15段階（2.5 cmステップ） ふろ湯温設定：約36 ℃～48 ℃（1 ℃ステップ）、水温			
保温		ポンプ循環			
足し湯		水位センサー検知方式　約2.5 cm以上の水位低下により自動足し湯			
給湯温度		湯温設定：約32、35、38 ℃～約47 ℃（1 ℃ステップ）、60 ℃			
付属品		取扱説明書、工事説明書、保証書			
コミュニケーションリモコンセット（別販品）		DH-RQC3W（台所リモコン：DH-RQC3M　浴室リモコン：DH-RQC3S）			
ボイスリモコンセット（別販品）		DH-RQV3W（台所リモコン：DH-RQV3M　浴室リモコン：DH-RQV3S）			
アース棒（別販品）		品番　AD-3200			

項目＼品番		DH-37G3QUBA・DH-37G3QUBAM	DH-46G3QUBA・DH-46G3QUBAM
標準消費電力※	標準「約90 ℃」設定	約36 kWh／日	約45 kWh／日
	少なめ「約75 ℃」設定	約21 kWh／日	約27 kWh／日

※標準消費電力量は、沸き上げ温度90 ℃・給水温度15 ℃の条件で、タンク全量を1回沸き上げたときの値です。
沸き上げ温度75 ℃・給水温度24 ℃の条件で、タンク全量を1回沸き上げたときの値です。

愛情点検　長年ご使用の電気温水器の点検を！

こんな症状はありませんか		ご使用中止	
	● 漏電しゃ断器が自動的に「切」になる。 ● 使用中にこげ臭いにおいがしたり、異常な音や振動がする。 ● 熱いお湯が出続ける。 ● 運転中以外に逃し弁から水が漏れる。 ● タンク、配管から水が漏れる。 ● その他の異常や故障がある。		故障や事故防止のため、必ず販売店に点検をご相談ください。

便利メモ おぼえのため記入されると便利です	お買い上げ日	年　月　日	品　番
	販売店名	☎（　　）　－	

パナソニック電工株式会社
製造元 パナソニック株式会社　エアコンビジネスユニット
〒525-8520　滋賀県草津市野路東2丁目3番1-1号
© Panasonic Corporation 2006-2008

F566199
S0908A0